

明治三十年勅令第十六號第二條ニ依リ明治三十二年中施行スヘキ度量衡定期檢定ニ際シ特設檢定所ニ於テ度量衡器ノ檢定ヲ受ケントスルモノハ左ノ通心得ヘシ

明治三十一年十二月三十日

長野縣知事

園山

勇

度量衡檢定受檢人心得

第一條 受檢器物ハ市町村長ノ通達シタル期日ニ洩レナク市役所町村役場差出シ市町村長ノ指揮ヲ請クヘシ

第二條 前條ニ依リ差出スヘキ器物ハ豫メ附着物ヲ清潔ニ掃除乾燥シ置クヘシ特ニ穀類、酒、酢、醬油、蠟油、砂糖、味噌、魚類、漆、藥品等ニ使用シタル器物ハ可成丁啤ニ掃除シ置クヘシ

第三條 第一條ニ依リ差出スヘキ器物ニハ每個必ス自己ノ住所氏名ヲ記載シタル木札ヲ付カ又ハ剝離紛失ノ虞ナキ様厚紙札ヲ貼付シ置クヘシ但度量衡器等ノ木札ヲ付シ難キモノ其他己ムヲ得サルモノニアラサレハ厚紙札ヲ貼付スヘカラス又之ヲ貼付スルニハ各種ノ表記ヲ貼リ蔽ハサル様注意スヘシ

第四條 象牙骨製ノ度量、玻璃製量器、小形ノ天秤分銅、桿秤等證書ヲ付シタル器物ハ紛失シタルモノ、外必ス其證書ヲ添付差出スヘシ

第五條 受檢者ハ勞費ヲ省ク爲メ一町村、一區、一耕地若クハ數名共同シテ村總代區長若クハ便宜代理人ヲ定メ受檢方ヲ委託スルコトヲ得此場合ニ於テハ受檢方ハ勿論修履其他受檢器物ニ關スル都テノ行爲代理ヲ委任シ置クヘシ

第六條 前條ニ依リ委託ヲ受ケタル檢定請求者ハ檢定吏員ノ指示ニ依リ器物人名ノ仕譯書ヲ作り檢定請求書ニ添付スヘシ

○長野縣訓令第五十七號

郡市役所

警察署

警察分署

町村役場

明治三十年勅令第十六號第二條ニ依リ明治三十二年中施行スヘキ度量衡定期檢定ニ際シ執行スヘキ事項左ノ通心得ヘシ

明治三十一年十二月三十日

長野縣知事

園山

勇

第一項 郡長警察官市町村長ハ檢定吏員ノ協議ニ依リ檢定器具ノ運搬特設檢定所ノ開閉ニ關スル準備其他檢定施行ニ際シ力メテ便宜ヲ與ヘ及第二項以下ノ事務ヲ執行スヘシ

第一市町村長ノ執行スヘキ事務

第二項 市町村長ハ警察官ト協議シ其市町村ヲ管轄スヘキ特設檢定所開所前普ク使用者ノ度量衡器ヲ臨檢シ使用者ノ氏名器物ノ種類箇數ヲ取調ヘ臺帳ヲ調製シ及本年十二月本縣告示第三百五號受檢人心得ノ各條ヲ洩レナク指示シ置クヘシ

第三項 市町村長ハ警察官ト協議シ豫メ檢定吏員ノ通知ニ依リ其部内受檢期日ヲ洩レナク各使用ニ通達スヘシ

第四項 第一項ニ依リテ取調ヘタル器物ハ其正否ニ拘ハラヌ期日ニ至リ洩レナク其市役所町村役場ニ持寄ラシメ若受檢人心得ニ定メタル手續ヲ盡サ、ルモノアルトキハ更ニ其手續ヲ爲サシムヘシ

- 第五項 前項ニ依リ持寄リタル器物ハ檢定吏員ノ通知シタル日割當日午前十時迄ニ必ス所轄檢定所ニ持參セシムヘシ但二日以上ヲ要スル市町村ニシテ大字耕地又ハ區毎ニ日割ヲ定メタルトキハ必ス其日割毎ニ持參セシムヘシ
- 第六項 檢定所ニ持參シタル器物ハ檢定吏員ヲシテ一應査閱區分セシムヘキニヨリ其指示ニ依リ各受檢人又ハ代理人ヲシテ檢定請求ノ手續ヲ爲サシムヘシ
- 第七項 市町村長ハ其部内使用者ノ器物檢定終了迄ハ必ス午前九時迄ニ所轄檢定所ニ出頭シ檢定吏員ノ指示ニ依リ諸般ノ準備ヲ爲シ及檢定ニ關スル事務ヲ補助スヘシ
- 第八項 市町村長ハ其部内使用者ノ器物悉皆檢定終了ノ上ハ直ニ所轄警察署長又ハ警察分署長ニ其旨通報スヘシ
- 第九項 市町村長ハ其部内使用者ノ器物悉皆檢定終了ノ日ヨリ十五日以内ニ普ク使用者ノ器物ヲ臨檢シ本年三月本縣訓令第二十一號度量衡取締手續第七條ニ準シ知事ニ報告スヘシ
- 第十項 郡長ハ町村長ノ執行スヘキ事務ノ視察監督ヲ爲シ及檢定吏員ノ協議ニ依リ部下ノ吏員ヲシテ檢定ニ關スル事務ヲ補助セシムヘシ
- 第十一項 各町村定期檢定終了後ニ於ケル臨檢ノ實況ハ視察ノ都度知事ニ報告スヘシ
- 第十二項 警察官ハ市町村長ハ協議ニ依リ便宜第二項ノ事務ヲ執行シ及第四項ノ事務執行ニ關シテ力メテ便宜ヲ與フヘシ
- 第十三項 警察署長警察分署長第八項ノ通知ヲ受ケタルトキハ部下ノ吏員ヲシテ三十日以内ニ使

用者ノ器物ヲ臨檢セシメ本年三月本縣訓令第二十一號度量衡取締手續第八條ニ準シ取締ノ狀況ヲ詳記シ知事ニ報告スヘシ

長野縣現行令達類纂

◎土地

○長野縣令第四十二號
官有地貸渡手續左ノ通相定ム

但明治十九年五月第五十五號告示官有地貸渡規則ハ廢止ス
明治二十四年十月十五日

長野縣知事 淺田 徳則

官有地貸渡手續

- 第一條 官ノ使用ニ供セサル官有地ハ期限ヲ定メテ貸付スルコトアル可シ
- 第二條 官有地ノ貸付ニ關シ此手續ニ規定ナクシテ他ニ規則アル者ハ總テ其規則ニ依ル
特別ノ事業ノ爲メ貸付スルモノニシテ特ニ其契約ニ規定アルモノハ仍ホ其條件ニ依ル
- 第三條 官有地ヲ借受ケントスル者ハ二人以上ノ保證人ヲ立テ第一號書式ノ願書ニ其地ノ圖面ヲ
添差出ス可シ其圖面ニハ願地ノ區域境界四至ノ地形及地種目等ヲ詳記シ若シ樹木等アルトキハ
其木數并ニ凡ソノ大サ種類等ヲ記載シタル形狀書ヲ添付スヘシ
- 一 町村共同ノ用ニ供スル爲メ町村會決議ノ上其町村ニ於テ借受ケントスルキハ保證人ヲ要ス
- 第四條 貸付ノ許可ヲ得タル者ハ指令ノ日ヨリ十五日以内ニ第二書式ノ借地證書ニ第三條ニ依リ
記載シタル圖面ヲ差出ス可シ若シ正當ノ事故ナクシテ期日内ニ之ヲ差出サ、レハ貸付ノ許可ヲ
取消ス可シ但神社祭典市場開設等ニ際シ臨時使用ニ供スルモノハ此限リニ在ラス
- 第五條 官有地ヲ借受地形ヲ變シテ使用セントスルモノハ出願ノ際其設計書ヲ差出シ併セテ許可
ヲ受ク可シ

前二項ニ依リ許可ヲ得タルモノト雖モ満期ニ至リ引續キ借用セントスルトキハ仍ホ第八條ノ手續ヲ爲スヘキモノトス

第六條 官有地ヲ貸付スルハ其期限ハ左ノ各項ニ依リシテ定ムルベシ

一 樹木ノ培養ニ供スル土地ハ十年以内ニシテ定ムルベシ

二 農工其他ノ營業及住居ニ供スル土地ハ三十年以内ニシテ定ムルベシ

第七條 貸付期間ノ計算ハ年ヲ以テスルモノ其許可ノ月ヨリ滿年ヲ以テシ月ヲ以テスルモノハ末日ノ盡日ヲ以テ期限トシ日ヲ以テスルモノハ末日ノ盡時ヲ以テ期限トス

第八條 満期ニ至リ引續キ借用セントスル者ハ其満期ヨリ三ヶ月以前ニ第三條ノ手續ヲ以テ更ニ出願ス可シ但月若クハ日ヲ以テ設定シタル貸付契約ヲ繼續セントスル者ハ満期前豫メ許可ヲ受ク可シ

前項ノ手續ニ依リ出願セサルモノハ満期ニ至リ當然返地スヘキモノトシ繼續貸付ヲ許可セス又其地ヲ他ヘ貸付スルモノニ對シ異議ヲ唱フルヲ得ス

第九條 貸付期間中ト雖モ官ノ都合ニ因リ其貸付ヲ解除スルトキハ借受人ハ之ヲ拒ムヲ得ス

前項ノ場合ニ於テ借受人ノ直接ニ受ケタル損失アトキハ其請求ヲ待テ之カ賠償ヲ爲ス

第十條 前條ニ依リ損失ノ賠償ヲ得シタルモノハ返地シタル日ヨリ六十日以内ニ申出可シ此期日内ニ申出サルモノハ其要償權ヲ拋棄シタルモノト看做ス

第十一條 貸付期間中借受人ノ都合ニ因リ其契約ヲ解除セントスルトキハ三ヶ月以前ニ申出許可ヲ受クヘシ但月若クハ日ヲ以テ設定シタル貸付契約ノ場合ニ於テハ解除セントスル期日前申出豫メ許可ヲ受ク可シ

第十二條 貸付料ハ近傍類地ノ價格ニ比準シ其百分ノ八以上トシ總テ評價ヲ以テ定ム但温泉地ハ近傍類地ノ價格ニ依リテ限ニ在ラス

既ニ貸付シタル土地ヲ第八條ニ依リ引續キ貸付スル場合ニ於テモ亦前項ニ依リ其貸付料ハ更ニ評價ヲ爲スモノトス

第十三條 貸付料ハ借地証書差出ノ月ヨリ起算シテ之ヲ納ム可シ其日數ヲ以テ貸付タルモノハ初日ヨリ之ヲ起算ス但特ニ期日ヲ指定シタルトキハ其期日ヨリ納ム可シ

第十四條 貸付料ハ總テ之ヲ前納ス可シ其貸付期限ノ滿年ヲ涉ルモノハ每期ノ初メニ於テ之ヲ納ム

貸付料ノ徵收期ハ左ノ各項ニ據ルベシ

一 前年又以後設定シタル貸付料金ハ甲年四月ヨリ乙年三月ヨリ以テ一期トシ甲年四月中ニ十徵收ス但四月以後新ニ貸付タルモノハ初期分ニ限リ契約設定ノ日ヨリ三十日以内ニ徵收ス

二 前月又ハ日ヲ以テ設定シタル貸付料金ハ契約設定ノ日ヨリ三十日以内土地使用前ニ徵收ス

第十五條 貸付料ノ徵收額算定方ハ左ノ各項ニ據ルベシ

一 年ヲ以テ設定シタル貸付ノ四月ニ起リ若クハ三月ニ滿期トナルモノハ全年分ヲ算定シ五月以後ニ起リ若クハ二月以前ニ滿期トナルモノハ月割ヲ以テ算定ス

二 四月ヲ以テ設定シタル貸付ハ初月終月ヲ問ハス總テ前月分ヲ算定ス

第十六條 貸付料ノ徵收期限内ニ納入セザルトキハ其貸付ヲ取消ス可シ

前項貸付ヲ取消スル場合ト雖モ其取消以前使用中ニ係ル料金ハ之ヲ納メシム

第十七條 貸付期間中其契約ヲ解除シタルモノハ料金免除方ハ左ノ各項ニ據ルベシ

明治二十五年
令第五
號第十
三號以
下第二
十四條
至第二
十七條
以下條
加

第一、年又六月以テ設定シタル貸付官ノ都合ニ因リ解除シタルトキ其日ヨリ免除シ借受人
 第二、年又六月以テ設定シタル貸付官ノ都合ニ因リ解除シタルトキ其翌月ヨリ免除ス
 第二十六日ヲ以テ設定シタル貸付官ノ都合ニ因リ解除シタルトキ其翌月ヨリ免除ス
 第二、因ルドメ間ク其日ヨリ免除ス
 第十八條ニ借受人ハ特ニ許可ヲ受ケルニ非ケレバ其地ヲ當初借用ノ目的以外ニ使用スルコトヲ得
 前項ノ規定ニ違反スルトキハ借受人ヲシテ其使用ヨリ生シタル損害ヲ賠償セシメ仍ホ其貸付ヲ
 取消スニトナル可シ
 第十條、借受人ハ其借地權ヲ賣渡シ讓渡シ又ハ抵當ト爲スコトヲ得
 借受人ハ特ニ許可ヲ受ケルニ非ラザレバ其借用地ヲ轉貸スルコトヲ得又許可ヲ得テ轉貸ヲ爲
 前項ノ場合ニ於テ其義務ハ總テ免カル、コトヲ得ス
 前項轉貸ノ場合ニ於テ借受人カ遵守スヘキ事項ハ總テ轉借人ニ於テモ亦之ヲ遵守ス可シ
 第二十條、借用中其地ニ對スル修理其他一切ノ費用ハ借受人ニ於テ之ヲ負擔ス可シ
 第二十一條、契約違反ニ因リ貸付ヲ取消シタルトキ其地ニ對シ如何ナル勞費アルモ官ニ於テ之
 第三十二條、借受人官ノ許可ヲ得テ土地ノ原形ヲ變シタルトキハ借地滿期ニ至リ盡日マテニ自費ヲ
 以テ之ヲ原形ニ復シ返納ス可シ其期間中契約ヲ解除スルハ特ニ指定スル期日マテニ原形ニ
 復スルニ限リ官ニ於テ原形ニ復スルニ及ハスト認ムルトキハ現形ノ儘據置キ返地ヲ許可スルコト
 官ニ可シ

借受人前項ニ依リ原形ニ復サ、ルトキ官ニ於テ直ニ原形ニ復シ之レカ費用ヲ辨納セシム可シ
 地況ニ依リ原形ニ復シ難キモノハ現形ノ儘據置キテ許可スルコトアルモ此場合ニ在テハ其損失
 ヲ賠償セシム可シ
 第二十三條、本手續ノ規定ニ依リ許可ヲ受ケルニ於テ其許可ヲ受ケス又ハ契約ノ事項ニ違
 背シタルカ爲メ其土地ニ對シ損失ヲ生シタルトキハ各條項中特ニ明規アルモノ、外仍借受人ヲ
 シテ之ヲ賠償セシメ其貸付ヲ取消スコトアル可シ
 第二十四條、借地人ハ特別ノ許可ヲ受ケルニ非サレバ借地内ニ生立スル官有木竹其他特定ノ物件
 ヲ使用シ又ハ採取スルヲ得ス
 第二十五條、借地人ハ借地中前條ノ木竹其他特定ノ物件ヲ看守シ及ヒ保存スルノ責ニ任ス可シ
 借地人ハ前項ノ木竹其他特定ノ物件ニ對シ第三號書式ニ依リ保管証書ヲ借地証書ト同時ニ差出
 ス可シ
 本條ノ保管ニ要スル費用ハ借地人ノ負擔トシ官ニ於テハ之レカ補償ヲ爲サス
 第二十六條、保管ノ木竹其他特定ノ物件ニ損害ヲ生シタルトキハ總テ借地人ニ於テ之レカ損害ヲ
 賠償ス可シ但天然ノ事變ニ因リ生シタルモノハ此限ニ在ラズ
 第二十七條、前條ノ損害カ借地人ノ故意ニ出タルトキハ土地ノ貸付ヲ取消ス可シ
 第二十八條、借地人其義務ヲ盡サ、ルトキハ保証人ニ於テ總テ其實ニ任ス可シ
 第二十九條、官ニ屬スル私有水面ノ貸付ニ付テモ此手續ニ據ル可シ
 官ニ屬スル私有水面ノ有料使用ニ付テモ亦此手續ヲ準用ス但本項ノ使用期限ハ十五年以内トス
 第三十條、明治二十四年四月一日以前ニ貸付又契約ヲ爲シタルモノハ滿期マテ總テ舊契約ニ依ル

土地

五

可シ其滿期ニ至リ引續キ借用セントスルモノハ此手續ニ依リ出願ス可シ
明治二十四年四月一日以後本手續發令マテニ貸付ノ契約ヲ爲シタルモノハ此手續ニ依リ更ニ契
約ヲ爲ス可シ

第一號書式

官有地借用願

何郡何町(村)(大字何)
何番字何

一官有地反別何程

此仮價格金何程

此借地料金何程

但一ケ年(一ケ月又ハ一日)分

右地所何々(使用ノ目的ヲ)ニ用候爲何ケ年間(又ハ何月ヨリ何月迄又ハ何月何日)借用仕度候間御許可被下
度御許可ノ上ハ官有地貸渡手續ヲ遵守可致候依之給圖面(設計書)相添此段相願候也

何縣何郡何町村大字何々番地

年月日

借地願人

何

某印

保證人

何

某印

保證人

何

某印

何郡何町村長

何

某印

第二號書式

長野縣知事宛

印紙

借地證書

何郡何町(村)(大字何)

何番字何

一官有地反別何程

此借地料金何程但一ケ年(一ケ月又ハ一日)分

此借地期限明治何年ヨリ何ケ年(何ケ月又ハ何日間又ハ何年何月ヨリ何年何日迄等明記ス可
シ)

使用ノ目的何々々

右地所借用ノ義前記ノ通相定メ出願候處明治何年何月何日長野縣指令第何號ヲ以テ御許可相成候
ニ就テハ明治二十四年十月縣令第四十二號官有地貸渡手續中借受人ノ遵守スヘキ條項ハ給テ堅ク
遵守致候若シ其條項ニ違背スルトキハ御規定ノ通處分セラレ、モ聊異議無之候依テ保證人連署借
地證書差上候也

何縣何郡何町村大字何何番地

年號月日

借地人

何

某印

同

何

某印

保證人

何

某印

長野縣知事宛

保證人 同 何 某印

第三號書式

保管證書

印紙

何郡何町村大字何何番字何

官有何地反別何程内ニ生立

一官有何木(竹)

何本但目通何尺何寸
長何間

一同何木

何本但同上

合計何本

(但別紙取調明細書ノ通)木竹數多キトキハ日通長ヲ
取調タル明細書ヲ添フ可シ

一官有何々 何程

右官有地借地許可相候成ニ付テハ右官有地上ニ現存スル前記ノ物件官有地貸渡手續ニ從ヒ損毀セ
サル様保管可致候若保管ノ物件ニ損害ヲ生シ候ハ、總テ賠償可致仍ホ御規定ニ依リ處分セラル、
モ聊異議無之候依テ保證人連署保管證書差出候也

年月日

住所

借地人

何

某印

保證人

何

某印

長野縣知事宛

保證人 何 某印

○長野縣令第百八十一號

官有道路敷川敷堤防敷其他總テ公用ニ供スル土地ニ家屋ヲ建設スル爲メ其敷地ノ使用ヲ出願スル
モノアルモ自今渾テ許可セサル筈ニ候條此旨豫メ各町村ヲシテ知悉セシムルヲ要ス

明治廿七年十二月二十七日

長野縣知事 淺田 徳則

○長野縣訓令第百七十一號

道路又ハ堤防敷地トシテ民有地ヲ買上タル時ハ右買上請書ノ日付ヲ以テ官有地第三種ニ組換候條
買上ノ都度其旨關係者へ達方取計フヘシ

但買上請書ハ本文達ト同時ニ當廳へ差出スヘシ

明治二十三年十二月二日

長野縣知事 内海 忠勝

○長野縣訓令第百七十九號

官有ノ社寺境内使用ノ爲メ出願セシトキハ祭典法用等ニ不都合ナキモノニ限り許可スヘシ
但祭典法會等ノ際一時使用セシムルハ其社寺限り承諾スルコトヲ得
官有ノ社寺境内ノ竹木ヲ伐採シ及枯損木障碍木處分ニ關シテハ其社寺並風致ヲ保存スルコトニ注
意スヘシ

土地

九

前項ノ使用料並竹木其他ノ收益ハ其社寺ノ收入ニ屬スヘシ
但收入財産ハ明治十四年本縣乙第百十三號達ニ據リ整理セシムヘシ

明治二十四年六月四日

長野縣知事

淺田 徳 則

○長野縣訓令第百三十三號

本年十月縣令第四十二號官有地貸渡手續ニ依リ借地願書ヲ差出シタルモノアルトキハ地元町村長ハ
左ノ事項ニ付詳細取調該願書ト共ニ差出スヘシ

明治二十四年十月十六日

長野縣知事

淺田 徳 則

- 一 出願ニ對シ地元町村及關係者ノ故障ノ有無
- 二 出願ニ係ル土地近傍類地ノ實際買價價格其他地番地目反別及地價
- 三 願書ニ記載アル仮價格ノ當否

○長野縣訓令第百五十五號

郡 役 所

町 村 役 場

自今社寺ノ境内地ハ官民有地ニ拘ハラス從來査定ノ區域ヲ變更セントスルモノ特別ノ事故アリ事
實不得止ノモノ、外ハ詮議ニ及ハス此旨相心得ヘシ

明治二十四年十二月十四日

長野縣知事

淺田 徳 則

○長野縣訓令第百六十五號

官有里道并ニ用水路等へ幅員取撤メノ起工出願スルモノアルトキハ左事項ヲ取調フヘシ
明治二十六年十二月八日

長野縣知事

淺田 徳 則

- 一 現在官有ノ里道并ニ用水路敷等へ副加漬地ヲ要スルモノハ其起業者ニ於テ右副加漬地ヲ何地
種ニ編入スヘキヤヲ質シ其編入スヘキ地種ノ民有地ナルトキハ成ルヘク現在里道并ニ用水路ノ地
種ニ編入スル事ニ取扱ヒ現在道路等ノ地種ニ編入スルヲ得サル事由等アルモノニ限り特ニ其事
由ヲ具シ經伺ノ上處分スヘシ

○長野縣訓令第二號

町 村 役 場

一筆ノ土地ヲ分裂シテ民有ヨリ官有ニ歸セントスルトキハ總テ其寄付上地若クハ買收前ニ於テ分
筆ノ手續ヲ經セシム可シ

明治二十七年一月十五日

長野縣知事

淺田 徳 則

○長野縣訓令第二十四號

町 村 役 場

町村ノ廢置分合若シクハ境界變更ニ依リ官有地ノ地籍ニ異動ヲ生シタルモノアルトキハ別紙表式
ニ依リ取調ヘ處分ノ日ヨリ三十日以内ニ新地籍町村長ヨリ舊地籍町村長ノ連署ヲ得テ之レカ異動
ヲ申報ス可シ若シ一筆ヲ分裂シテ異動シタルトキハ實測圖面ヲ添付スルヲ要ス
但町村制施行以後本訓令發布迄ニ異動シタルモノハ本年三月末日限り之レヲ申報ス可シ

明治二十八年三月十一日

長野縣知事

淺田 徳 則

右ハ本年々期明ノ處川(湖)ニ變シ到底起返スヘキ目的無之旨地主ヨリ届書差出候間地種變換相成
度別紙繪圖面相添此段及上申候也

年月日

町村長名

知事宛

(備考)

- 一 此上申書ハ地主ノ届書ヲ收稅署ヘ發送スルト同時ニ所轄郡役所ヲ經由差出スヘシ
- 一 川(湖)地番トアル欄ニハ河川道路溝渠湖池等取調帳ニアル其川(湖)ノ地番ヲ記載スヘシ
- 一 圖面ハ荒地區域ヲ詳知スヘキ様調製シ毎筆地番字地目反別及ヒ地主ヲ標記スヘシ

○長野縣訓令第八號

郡役所

町村役場

官有地ニ關スル地種目組替貸下使用拂下其他出願事件ニハ總テ圖面ヲ添付セシムヘシ其圖面ハ實
測圖ニシテ縮尺ヲ明記シ且實三斜間數方位四隣地ノ地况境界地番地目及所有者名等ヲ詳記セシメ
毫モ遺漏ナカラシムルヲ要ス

明治二十九年一月二十二日

長野縣知事 淺田 徳則

○長野縣訓令第五號

郡役所

町村役場

- 一 町村内一部一區ノ財産ニ關スル事務ハ町制第百十五條ニ依リ町村長ニ於テ管理スヘキ管ナ
ルヲ以テ官有地ニ關係アル事件ニ付該一部一區ノ名義ヲ以テ出願セントスルトキハ總テ其事務
ヲ管理スヘキ町村長ニ於テ之レカ手續ヲ爲スヘシ
- 二 前項ノ出願事件ニ付テハ區會若クハ區總會ノ設ケアル場合ニ於テハ之レカ議決ヲ經タル旨其
設ケナキ場合ニ於テハ町村會ノ議決ヲ經タル旨ヲ明カニスヘシ

明治三十年一月二十一日

長野縣知事 高崎 親章

○長野縣達甲第十八號

郡役所

官有地山林原野 拂下ヲ出願スルモノアリタル時ハ各町村長ニ於テ左ノ項目ニ據リ詳細取調願書ニ添
付シ差出シ候様取扱ヘキ旨達方取計フヘシ

長野縣知事 内海 忠勝

明治二十三年十一月七日

一 隣地又ハ類地買買代價

一 比較地々番字地目反別地價買買代價及其反金

一 取調手續及理由

○長野縣達甲第十七號

郡役所

官有地ヲ道路河川堤塘等ノ公用ニ供セントスル時ハ其要スル事由ヲ詳具シタル願書ニ併地調書及
ヒ圖面添付差出スヘキ旨部内町村役場ヘ達方取計フヘシ

但民有地ト連帶スルモノハ其民地ノ分ニシテ所轄郡役所ノ許可ヲ得タルモノハ願書ニ其許可年月日符號等ヲ併記スヘシ
明治二十四年七月八日
長野縣知事 淺田 德 則

◎登記

○長野縣訓令第百十三號

郡 役 所
町 村 役 場

明治二十七年訓令第六十二號ヲ以テ第一項改正
明治二十七年訓令第四十七號ヲ以テ第二項追加

一 寄付上地ニ依リ民有地ヲ官有道路堤塘河川溝渠等ト爲ストキハ地元町村長ニ於テ濱地中已ニ登記ヲ經タルモノ、有無ヲ調査シ其登記ヲ經タルモノハ登記番號地番地目反別及登記簿ニ記載アル所有者姓名ヲ別紙ニ記載地種組替願書ニ添付差出ス可シ

二 前項ノ取調書ハ別紙表式ニ依リ正副二通ヲ差出スヘシ但シ本表差出后寄付若クハ買收ノ手續中所有姓名其他表中ノ事項ニ異動ヲ生シタルトキハ之レカ異動取調書ヲ差出スヘシ
明治二十四年八月二十八日
長野縣知事 淺田 德 則

郡 役 所
町 村 役 場

○長野縣訓令第百十九號

官有地ノ賣渡讓與若クハ交換ニ對スル登記請求ハ左ノ手續ニ依ラシムヘシ
明治二十三年月十二本縣訓令第百七十四號其他本令ニ抵觸スル從前ノ手續ハ總テ廢止ス
明治三十年五月十四日
長野縣知事 權 藤 貫 一

第一條 官有地ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ代金納入ノ際讓與若クハ交換ヲ受ケタル者ハ即時登記請求書(第一號)及ヒ登録稅額相當印紙貼用シタル名刺(第二號)ヲ差出スヘシ
第二條 登記請求書ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ
一 願書及指令ノ原本一通

二 代人ヲ以テ請求スルトキハ其委任狀
三 數人共有地ニ係ルキハ共有連名簿(第三號)

第三條 官地賣渡ニ對スル登記請求書ヲ差出シタルトキハ郡ニ在テハ請求書欄外ニ代金納入ノ年月日ヲ記入郡長檢印ノ上送付スヘシ

明治何年何月何日代金納入済

檢印

(第一號書式)

官有地何々ニ付登記請求書

何郡町村大字

何番何號字何

買受(讓受)(交換)人

一官有地(地)反別何程

何々

此實測反別何程

此拂下(又ハ相當見積)代金何程

(數筆アルトキハ右ノ如ク列記スヘシ又開墾ニ係ルトキハ開墾成功地目毎ニ地番反別ヲ内譯記載スヘシ)

右官有地賣渡(讓與)(交換)ノ義何年何月何日指令第何號ヲ以テ許可相成候ニ付登記請求相成度此段及請求候也

右買受(讓與)(交換)人

又ハ何々管理者

住 所

何 々 某 印

年 月 日

知 事 名 宛

(第二號書式)(用紙半紙白紙)

一官有地拂下(讓與)(交換)ヲ得候ニ付登願

此拂下(又ハ相當見積)代金何程

此登錄金何程

印紙 印紙

買受(讓與)(交換)人

又ハ何々管理者

住 所

何 々 某 印

年 月 日

(第三號書式)

共有者連名簿

何郡市町村大字

何番何號字何

一何地(地)反別何程

此實測反別何程

(數筆アルトキハ右ノ如ク列記スヘシ又開墾ニ係ルトキハ成功地目毎ニ地番反別ヲ内譯記載

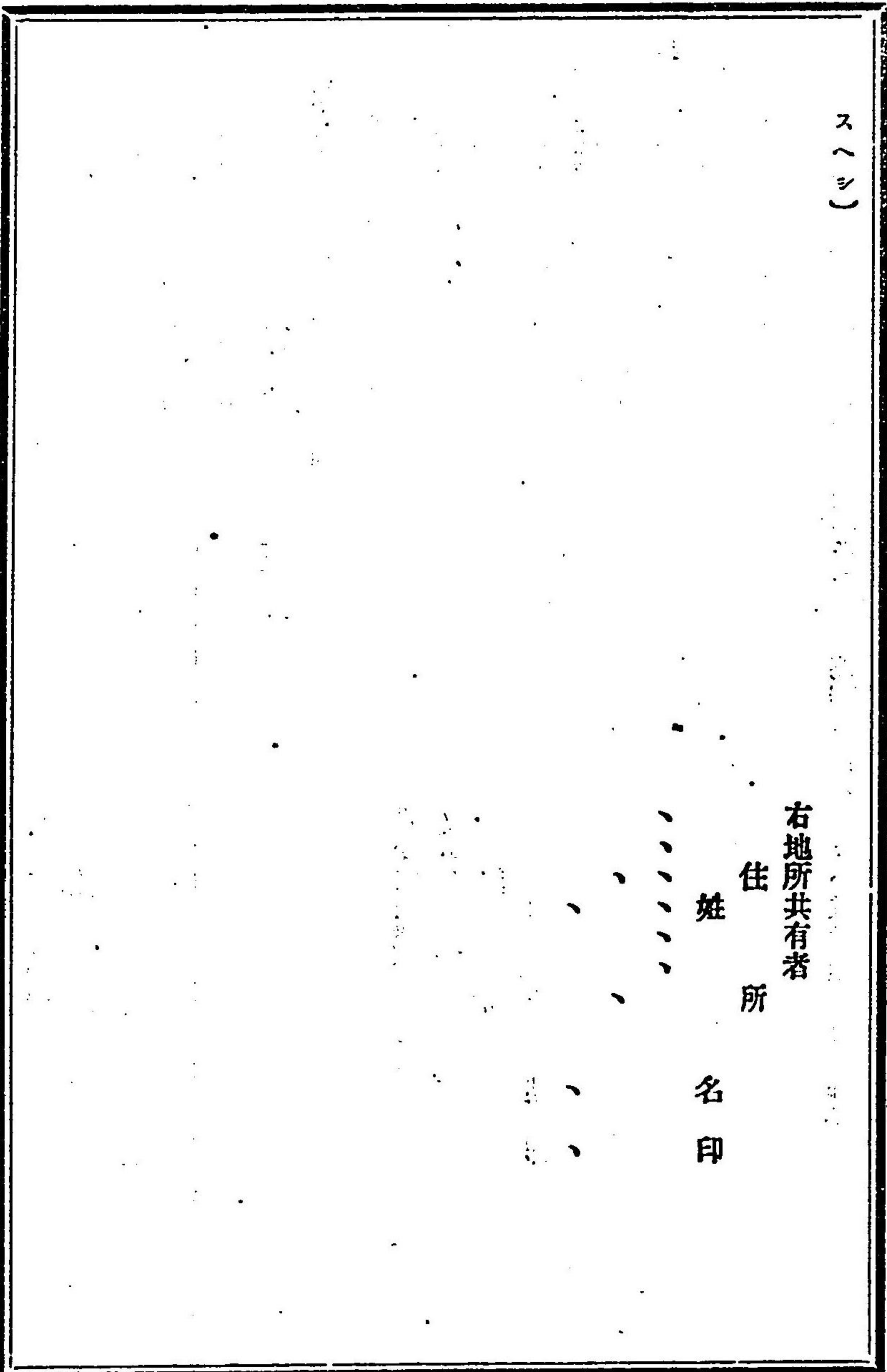
登 記

スヘシ

右地所共有者

住 所

姓 名 印



二十

◎森林

○長野縣令第六十號

左ニ掲クル山林ハ國土保安ノ爲メ伐木停止及風致林ニ編入シ樹木ノ皆伐及土石ノ掘採ヲ爲スコトヲ停止ス

但已ムヲ得サル事由ニヨリ拔伐若クハ掘採ヲ爲サントスルトキハ當廳ノ許可ヲ受クヘシ
明治三十年十二月三十一日
長野縣知事 橋 藤 貫 一

記

郡市	町村	大字	字	地番	反	別	種類別	所有者
南佐久	平賀	平賀	城ノ平	四、六一四	〇二二五	風致林	平賀區	
全	北	豊里	浦ノ山	四、二三八	〇三二一	全	鷹野齊	
全	全	全	全	四、二五五	〇三〇八	全	小池與四郎	
全	全	全	居村	四、三五三	九三一〇	全	藤島光俊	
全	全	全	向山	四、三九六	〇二二〇	全	全	
全	全	全	はつた	四、七九六	〇六二〇	全	島山唯六	
全	全	全	作道	四、九四五	〇八〇六	全	鷹野彌三	

森林

二十一

全	全	全	上伊那	全	全	全	全	全	諏訪	全	全	全	全
全	全	美和	東伊那	湊	全	全	全	全	豊田	上諏訪	全	全	神科
非持	全	黒河内	火山								全	全	上野
ツサ ルカ 子坂	山吹 潭	大松	高鳥谷	観音山	全	全	全	有賀	西若宮	全	全	全	戸畑
三、八二四	二、五六一	八〇二	七、七〇六	七、七〇六	四、七六四	四、七五七	四、七五五	四、七五四	五、九一一	二、四六八	二、四六六	二、四六五	二、四四〇
二〇〇〇〇	二〇〇〇〇	一〇〇〇〇	二六二〇	二八〇九	六七三二四	一一〇六	一〇九二	八〇〇〇	六六〇三	一六二〇	〇二二〇	八〇二〇	三二二八
全	全	停伐 止林木	全	全	全	全	全	風致林	停伐 止林木	全	全	全	全
非持	全	黒河内	火山	小坂區	全	全	全	江音寺	地蔵寺	陽泰寺	荒木逸全	陽泰寺	荒木逸全

全	全	小縣	全	全	全	全	全	全	全	全	北佐久	全	全	全
全	全	瀬津	全	全	全	岩村田	全	全	全	全	三井	全	全	全
西町	全	東町	全	全	全	岩村田	全	安原	全	香坂	全	全	全	全
岩井堂	全	角屋	下小平	全	全	鼻顔	全	光明寺	大ゴツ	口明	全	全	つし	こし
二、四五三	一、三四二	一、三四二	四、二二二	四、二六二	四、二六〇	四、二五九	一、六八六	一、六八五	五、一〇〇	二、〇七〇	四、九八六	四、九七六	四、九五六	四、九五六
一、二九〇〇	一、四〇三	〇九〇九	一九〇六	〇九〇〇	一一〇〇	四〇〇六	二〇四三	一八七二〇	四一〇〇	一〇〇〇	一二二二六	一七二二	一四二八	全
全	全	全	全	全	全	全	全	風致林	全	止伐 林木	全	全	全	全
大塚英之助	全	長命寺	岩村田ノ内 今宿	今宿	全	岩村田	全	安養寺	香坂ノ内 東地	香坂	鷹野	全	吉村忠道	全

全	全	全	全	西筑摩	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	奈川	大鹿	全	全	全	波合	河野	全	全	全
					鹿平	全	全	全	波合		全	全	
八鍋堀下宮川ス銀鋳	木澤立	澤大日向	頭木マヨ	冶手	内澤山	全	全	全	大川入山	大入山	中山井林	井林	
四〇二四	四二六六	三四五五	二二九九	二〇八三	四三三四	八七三七	一七九二	一七九二	一三三九	七六三三	三七二〇	二七四七	
二〇〇三六	一六〇〇〇	九〇〇〇	一八〇〇〇	一〇〇〇〇	六〇〇〇〇	二〇〇〇〇	一五〇〇〇	二五〇〇〇	二〇〇〇〇	一〇〇〇〇	三五〇〇〇		
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	伐止林木	風致林	全	全
全	全	全	全	奈川	鹿平	全	全	全	波合	河野	全	全	全
				川村	谷區				合區	野村			

全	全	全	全	全	全	全	全	全	下伊那	全	全	全	全	全
全	全	且開	全	全	全	松尾	全	大島	全	伊那	全	全	全	全
全	全	且開	全	全	全	松尾	全	大島			全	全	溝口	
全	全	風除林	全	全	新井島	新井	全	西山	全	九	越	南	東	
										山	子	郷	山	
二八	二七	二七	七一九一	七一九一	七一九一	七一九一	六六一六	二七五〇	全	三二五〇	三二五〇	一、九一〇	一、九〇九	
四七〇〇〇	三〇〇〇〇	二〇二二〇	二八二二三	四四二八	一四二〇	〇四〇〇	〇〇〇〇	二九〇〇	一七四〇	〇五〇〇	八四二四	一〇〇〇〇	五〇〇〇〇	二〇〇〇〇
全			全	全	全	全	全	全	伐止林木	全	風致林	全	全	全
全	全	且開	全	松尾	森本勝太郎	松尾	全	大島	全	常圓	全	全	溝口	
		村		區	區	區		村		寺				

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	金	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
				井										
全	全	全	全	大	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
				河										
				原										
七〇〇	六九五	六八九	六八七	六八八	一、五七八	一、五七七	一、五七九	一、五九九	一、六〇一	一、六二〇	一、六一九	一、六一八	一、七四〇	一、七四〇
二二一六	三〇二〇	三三二〇	三七二五	一六一五	〇七二四	二八二四	二八〇九	〇六二三	二四二三	〇二二〇	〇四〇五	〇五〇〇	三三二〇	三三二〇
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
湯本定恒	佐藤孫作	田村シケ	全	田尻與三郎	田中廣右衛門	武田仁藏	田中兵藏	武田チウ	武田健治郎	武田右源治	全	武田安五郎	全	全

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
一、七四一	一、七四五	一、六二一	一、七四八	一、七五〇	一、七五二	一、七五八	一、七五七	一、二八五	一、二八七	一、二四五	一、一九〇	一、二四二	一、二四四	一、二四四
四六〇三	一〇〇〇	〇六二四	〇二二三	〇六二三	〇九〇七	〇六一六	〇六二三	一三二五	〇四〇七	一〇〇〇	〇二二〇	〇二二五	〇六〇九	〇六〇九
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
延命寺	町田文治郎	岩下菊藏	全	町田文治郎	武田與五右衛門	武田茂右衛門	市川治兵衛	萩原高吉	蒲野岩吉	市川治兵衛	小野源良尚	田中良吉	阿部市作	阿部市作

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
三六八	三六五	三六四	三六一	三五七	三五六	三五三	三五二	三四九	三四八	三四五	三四二	三四一	三四〇
一七二三	〇八〇二	一三二五	〇五二四	一一〇六	一〇〇四	〇六二九	〇二二七	〇四一一	〇五一九	一四二八	〇一二五	〇七二〇	〇五二二
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
池田德武	山田多重郎	山田新作	市川與一郎	池田清右衛門	春原重作	池田恒三郎	春原米吉	阿部高助	市川與一郎	池田長治	池田六郎兵衛	白井左佐	池田伊助

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	下高井
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	笠原	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	下河原	全	全	全	全	河原添	全	全	全	全	全	全	全	全
三三七	三三六	七八六	七八五	七八四	七八三	七五三	七四四	七三二	七一五	七一四	七〇七	七〇六	七〇五	
一二二二	一八〇六	〇〇二八	〇九二九	二二〇〇	〇八二二	三九二二	三五二八	二六二〇	一一〇〇	一三二二	一一〇七	〇九〇七	二二一六	
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	
阿部高助	池田虎助	綿貫榮治郎	市川治郎作	全	全	佐藤長五郎	田尻與三郎	三澤茂市	小島捨松	小玉熊五郎	湯本定恒	綿貫平治郎	全	

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	上水内
全	全	全	全	全	全	全	全	全	鬼無里	全	柵	三	戸	戸
日影	全	全	全	全	全	全	全	全	鬼無里	全	柵	芋	戸	戸
とちの木澤	全	曲	全	柵	矢	同	原	矢	法	谷	釜	内	中	中
		尾	原	下		下	合	澤	岩	山	社			社
二、一三一	一、七四五	一七、四四五	九、五一八	九、五一八	七、九七二	八、四〇七	八、四〇七	七、九七三	七、九六〇	一、六六九	八、三二六	八、三二六	三、五〇七	三、五〇七
六三〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇	五〇〇〇〇〇	三八〇〇〇	三五〇〇〇	三三三〇〇	三〇〇〇〇〇	二〇〇〇〇〇	一四〇〇〇〇	二五五二〇〇	一〇五〇〇〇	一〇〇〇〇〇	一〇〇〇〇〇
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
日影	全	東京組	全	財又部落	原山重吉	全	大澤外十七組	山口鹿太	徳武藤太	五十組、土組	平介平組	平組	李川	極意志富

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
九〇八	九〇一	九〇〇	八九七	八九六	八六七	八六六	八六五	八六四	三七七	三七六	三七三	三七二	三六九	三六九
〇二二七	〇二〇九	〇〇〇七	〇二〇一	〇二二八	四三二七	三六二五	一二一四	二二〇一	〇七〇〇	〇〇一二	〇〇二三	〇六二三	一四〇〇	一四〇〇
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
清水忠作	山田儀兵衛	兒島儀右衛門	山田重徳	土屋元治郎	笠原西組	海谷仁市	山田多重郎	塚田輔之進	山崎多重郎	阿部利作	白井マツ	池田虎助	海谷康治郎	海谷康治郎

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
片	鹽	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
丘	尻													
西	鹽													
尻	尻													
條	町													
牛	入	西	赤	湯	王	八	細	北	ヨ	祖	日	檜	中	舟
伏	條		ノ	ノ	ノ	重		澤	シ	母	影	澤	尾	夕
寺	山	野	瀧	入	鼻	澤	尻	澤	ケ	々	懐	澤	津	澤
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
八	三	三	八	一	二	八	一	五	四	一	四	四	一	五
三	九	三	〇	〇	〇	五	〇	三	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二	六	四	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
二	一	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

全	全	全	全	全	東	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	生	中	全	全	東	全	全	安	全	有	東	南	全	全
坂	坂	山			筑	中		曇		明	穗	穗		
					摩	川					高	高		
		神												
		田												
藥	原	池	千	岩	川	日	小	窪	小	五	眞	觀	宮	西
師	澤	澤	鹿	戶	鹿	影	谷	赤	日向	陵	々	音	脇	浦
澤	山	山	頭	澤	澤	山	澤	穂	彦	澤	澤	平	脇	浦
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
四	一				四	四	五	一	五	二	一	二	一	一
五	二				〇	〇	六	〇	〇	〇	六	五	二	六
〇	〇				〇	〇	〇	〇	〇	〇	六	〇	五	六
〇	九				〇	〇	〇	〇	〇	〇	二	〇	〇	〇
〇	一				〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	二				〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

全	全	全	上伊那	下水内	全	全	全	全	上高井	植科	全	全	全
全	全	全	西春近	飯山	小布施	都住	全	全	豊丘	坂城	長野	安茂里	三水
					小布施	中松	全	全	小山	坂城		平柴	普光寺
細ノ谷	白山澤	全	山神原上	班山	全	上原	市川添	前川原	市川添	矢場佐間山	大嶽山	朝日山	川入堰山
全	全	全	御料地	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
				一七〇〇〇〇	二二九〇一	三三二一八	八四四二六	四二二	四〇八一四	一二五八一四	一二八一五〇〇	五九五三〇〇	八〇〇〇
全	全	全	風致林	全	全	全	全	全	全	全	禁伐林	風致林	全
全	全	全	御料地	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

全	全	上水内	小縣	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
古間	全	三水	西塩田	本城	全	全	全	本郷	全	全	全	全	里山邊	入山邊
荒瀬原	全	赤塩	手塚	乱橋	浅間	大	浅間	大				湯ノ原	桐原	
水尾山	鞍掛	大谷地	龍王	名九手入	外手入	御殿山	雁金	全	一本松	姥ヶ懐	殿山	邸山	アタラ澤	御鷹山
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
														五三八四五一六
一〇五〇〇〇	〇六〇〇〇	〇六〇〇〇	三〇〇〇	一二七二三三二	一二三四二二	一〇九一二	四三八〇五	六〇〇〇〇	一二二三〇六	四六二二五	二〇〇〇〇	一五〇〇〇	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	上 片 桐	全	七 久 保	全	全	全	飯 島	全	全	全	全
						田	全	全	飯 島	全	全	全	全
						切							
大 商 日 社	鶴 部	大 柏	飯 方	道 滿	大 宮	日 方 盤	高 尾	島 居 原	石 曾 根	二 木 社	三 ツ 石	春 日 社	白 山
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
七 七 一 四	一 一 一 〇	一 〇 二 四	〇 〇 五 〇 六	〇 〇 五 〇 九	一 五 五 二 〇	〇 五 〇 三	〇 〇 二 〇	〇 四 一 七	〇 四 〇 〇	〇 九 二 五	〇 八 二 二	一 五 〇 二	〇 八 〇 七
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	赤 穂	全	全	全	宮 田	全	全	全	全	全	全	全	全
全	赤 穂												
伊 鈴 森	美 女 森	柳 切	宮 林	姫 宮	西 林	エ ゴ ザ ラ シ	神 明	寺 村	瀬 戸 林	大 宮	澤 柳	喜 山 藏	大 六 天
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
三 〇 二 四	六 七 八 〇 八	〇 六 一 五	〇 九 二 三 七	〇 四 一 一	〇 三 一 一	〇 四 一 四	〇 八 〇 〇	一 二 二 四	〇 二 〇 九	二 一 一 二	〇 五 一 二	〇 六 〇 四	二 八 〇 四
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	藤	手	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
		澤	良											
			澤	全	福	全	伊	全	全	全	全	全	全	全
			岡		島		那							
山	硫	朱	山	宮	池	法	若	横	御	イ	宮	全	宮	宮
ノ	引	引	ノ	垣	火	師	宮	道	射	夕	林	ノ	上	垣
神	黄	外	神	外	火	探	洞	道	山	子	林	上	外	外
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
二	〇	〇	〇	四	〇	五	一	一	〇	三	〇	二	二	〇
一	五	七	八	五	六	四	二	三	三	四	二	二	六	九
〇	〇	二	〇	二	二	〇	三	〇	二	二	二	二	六	五
八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
伊	全	全	全	西	南	全	全	中	笑	全	東	全	全	全
那				西	南			中	笑		東			
				笑	笑			笑	輪		笑			
				輪	輪			輪	輪		輪			
伊								三						
那								日						
								町						
杉	第	御	三	神	八		高	朱	白	大	藤	北	全	樋
ノ	六	射	王	明	橋		橋	引	山	崎	塚	田		口
神	天	山	王	明	橋		社	外	社	崎	塚	田		口
ノ	林	山	王	明	橋		境	外	外	崎	塚	田		口
神	林	山	王	明	橋		外	外	外	崎	塚	田		口
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
三	〇	一	〇	〇	四	六	一	一	〇	四	一	四	三	二
六	四	二	六	九	七	二	二	七	二	二	三	五	七	九
〇	〇	〇	〇	〇	三	九	〇	〇	四	四	二	二	二	八
〇	〇	〇	〇	〇	三	九	〇	〇	四	四	二	二	二	八
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	大	全	全	神	全	全	全	全	喬	全	全	上	久
		鹿			稻					木			堅	
全	全	大												
		河												
		原												
釜	中	滿	石	松	宮	社	神	大	唐	中	唐	神	ノ	細
					ノ	家	田	宮		尾	土	社	ノ	ノ
澤	尾	平	峰	門	脇	ノ	山	宮	澤	社	社	峰	ノ	澤
						下	和							
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
〇	〇	二	〇	二	〇	二	〇	〇	二	〇	一	〇	八	八
五	九	〇	四	六	四	三	九	三	三	八	四	九	八	二
〇	一	二	一	〇	一	一	〇	二	二	〇	二	〇	二	八
〇	四	七	五	七	〇	一	六	八	八	一	五	〇	〇	全
〇	二	七	五	七	〇	一	六	八	一	五	〇	〇	〇	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	下	竜	半	全	全	全	全	全	泰	全	平
				久	江	代						阜		岡
				堅										
全	全	全	全	下		千							全	平
				久		代								岡
				堅										
山	三	沙	滿	宮	今	宮	注	大	南	大	宮	全	原	
		ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ			山	ノ			
口	島	ノ	上	平	宮	後	宮	畑	宮	祇	元			
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
二	一	〇	〇	〇	〇	八	〇	一	一	三	二	八	一	五
四	七	三	三	三	三	〇	六	〇	〇	三	七	一	四	〇
二	四	三	一	一	一	一	〇	〇	〇	一	七	二	八	五
三	四	三	一	一	一	一	〇	〇	〇	一	七	二	八	五
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

森林

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	智里	全	全	全	伍和	全	會地	清内路	全	全	山本	全	全
						駒場	春日	久米	箱川	山本	中			
中	上ノ	西ノ	上ノ	寺尾	天神ヶ	小	宮ノ	宮ノ	宮ノ	宮ノ	全	宮ノ	原	全
市	外	山	森	山	平	山	脇	山	ツルキ	越	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
二二〇八	〇四二八	〇五二二	二四二二	九三〇八	〇三二七	一〇三三八	三九〇〇	二二二六	二二二〇	三五一八	二六〇三	三一〇七	〇四二七	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

五千九

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	伊賀良	三穗	全	全	全	全	下川路	全	滝丘
北	下	全	全	大	全	三日市場	伊豆木					全	時	又
方	殿			瀬										
原	宮	柳	權	牧	立	宮ノ	宮ノ	琴ノ	中	原	大	八	十	社
後	下	山	現	平	野	崎		原	條		明	王	寺	社
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
〇四〇八	二〇一四	一三〇〇	〇七〇一	〇五一九	〇二二三	〇二一八	二五二五	一六二九	〇七二〇	三九二九	八六〇一	〇四二八	二〇一五	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

五千八

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
豐	大	全	全	富	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
	下			草										
和	北			全	全	全	全	陸	全	全	全	全	全	全
合	條							澤						
下	堤	榎	ミ	大	塚	板	日	後	井	宮	寺	松	大	
		ノ				ノ			ノ	ノ			日	
平	林	前	々	爪	澤	洞	影	畑	上	越	尾	林	原	
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
〇	一	〇	〇	一	〇	〇	〇	〇	一	一	〇	〇	〇	〇
四	二	三	三	九	四	三	四	八	六	二	一	五	一	三
二	〇	〇	〇	一	〇	三	三	一	四	二	五	九	二	〇
九	三	〇	二	六	〇	三	三	一	九	一	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	下	全	全	全	根	全	波	全	全	全	全	全	全
		條				羽		合						
全	全	陽						平	波					
		皋						谷	合					
松	全	栗	折	取	小	小	宮	宮	峯	割	中	杉	綱	
ノ		生	山	手	川	戶	ノ	ノ		石	山	ノ	ノ	
越		原				名		原				木	掛	
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
三	〇	〇	一	一	一	三	〇	一	三	一	二	一	三	〇
二	六	三	〇	八	三	三	九	四	一	〇	九	二	〇	〇
一	六	五	四	一	七	七	九	四	一	一	二	一	〇	〇
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

泉源涸渴シ又ハ降雨暴降爲ニ土地ヲ損害シ之ヲ大ニシテハ全國殖産ノ道ヲ妨ケ之ヲ小ニシテハ一家需用ノ缺乏ヲ來スハ必然ノ義ニ付山林在來ノ材料ヲ愛惜シ濫伐野燒ノ憂ヲ防クハ勿論漸次閑地ニ苗木ヲ植付將來繁殖ノ道相立候様各自ニ於テ一層注意可致此旨布達候事

明治十四年二月十七日

長野縣令 檜崎 寛直

○長野縣令第二十四號

明治二十一年五月十七日縣令第五十號自今廢止ス

明治三十二年四月十八日

長野縣知事 園山 勇

○長野縣令第二十五號

林野火入及燒火取締規則左ノ通相定ム

明治三十二年四月十八日

長野縣知事 園山 勇

林野火入焚火及取締規則

第一條 林野ニ火入ヲナサントスルモノハ左ノ各項ヲ具シ隣接林野ノ所有者又ハ管理者ノ連署若クハ承諾書ヲ添付シ其火入箇所々在ノ最寄警察官署ニ願出火入許可証ヲ受ク可シ
但森林法施行細則第十一條ニ據リ森林官ノ許可ヲ得タルモノハ火入前最寄警察官署ニ届出ツ可シ

一 火入箇所ノ地籍地目及其區域反別

二 火入ノ目的及方法

三 火入ノ期日時限

四 防火ノ設備及番人ノ員數

五四至ノ境界ヲ見ルヘキ實地略圖

第二條 防火ノ設備ハ左ノ各項ニ據ルヘシ

一 林野ニ接續スル部分ニ防火線ヲ設置スルコト

二 防火線之設置ハ幅三間以上木草其他ノ可燃物ヲ除去スルコト

三 番人ヲ配置スルコト

第三條 第一條ノ許可ヲ得タルモノハ其火入期日五日以前ニ隣接林野ノ所有者又ハ管理者ニ通知ス可シ

第四條 火入ノ許可ヲ得タルモノト雖トモ警察官吏ノ立會ヲ得ルニアラサレハ火入ニ着手スルヲ得ス

第五條 火入中日没ニ至リ又ハ風勢穩カナラサルトキハ直ニ之ヲ中止スヘシ

第六條 火入中ハ第一條員數ノ番人ヲ付シ火氣全ク消滅スルニ至ルマテ其場ヲ退カシムルコトヲ得ス

第七條 原野ニ於テ濫ニ焚火ヲナシ又ハ炬火ヲ携帯スルヲ得ス

第八條 林野ニ於テ已ムヲ得サル場合ニ焚火ヲナシタルトキハ火氣全ク消滅スルニアラサレハ退去スルヲ得ス

第九條 林野ニ於テ燒灰木炭製造等ノ目的ヲ何テ焚火ヲナサントスルモノハ相當ノ防火設備ヲナシ豫メ警察官署ニ届出ツヘシ

第十條 林野以外ノ土地ニシテ林野ニ接續セル箇所ニ於テ害虫驅除等ノ目的ヲ以テ木草ヲ燒却セ

ントスルトキハ番人ヲ付シ火氣全ク消滅スルニ至ルマテ其場ヲ退カシムルコトヲ得ス

第十一條 第一條ノ許可ヲ得スシテ原野ニ火入ヲナシ又ハ第四條第五條第六條ニ違背シタルモノハ二圓以上十圓以下ノ罰金ニ處シ第三條ニ違背シタルモノハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス

第十二條 第七條第八條第九條第十條ニ違背シタルモノハ五錢以上一圓九十五錢以下ノ科料ニ處ス因テ他人ノ林野ヲ燒燬シタルモノハ二圓以上十圓以下ノ罰金ニ處ス

○長野縣令第二十六號

民有山林取締規則左ノ通相定ム

明治三十二年四月十八日

長野縣知事 園山 勇

民有山林取締規則

第一條 山林所有者ハ箇所毎ニ適當ノ作業方法ヲ定メ本年八月限り之ヲ市町村長ニ届出ツ可シ但

第五條ニヨリ造林ヲ要スル箇所ハ本文ニ據ラサルコトヲ得

第二條 前條ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記スルモノトス

一 地籍字地番 反別

二 現在ノ林况 (林木種、林齡、疎密等)

三 禁伐又ハ伐採法 (皆伐、擇伐、群成擇伐等)

四 伐採面積 (連年何程、又ハ何年目毎ニ何程)

五 播種法 (天然下種、人工植栽、萌芽育成)

六 手入法 (灌木及雜草ノ刈除、間伐等)

七 雜產物ノ種類及採否

第三條 山林ノ樹木ヲ伐採セントスルトキハ其着手前豫メ市町村長ニ届出承認ヲ受ク可シ

其開墾又ハ他地目變換ノ目的ヲ以テスルモノハ森林法其他ノ各法令ノ規定ニ依ル第四條伐木跡地ニシテ樹苗ノ植栽ヲ爲スヘキモノハ伐採后三ヶ月以内ニ其植栽時期ヲ市町村長ニ届出ツ可シ

第五條 從來伐採シタル無立木ノ山林若クハ荒廢ニ風スルモノハ所有者ニ於テ速ニ造林計畫ヲ定メ本則施行后二ヶ年内ニ市町村長ニ届出ツヘシ

第六條 山林以外ノ箇所ニ新ニ造林ノ目的ヲ以テ植樹セントスルトキハ作業方法ヲ記シ其着手前

ニ市町村長ニ届出ツ可シ

第七條 山林所有者ハ野火ニ際シテハ互ニ呼應シ速ニ警防ニ從事スヘシ虫害其他ノ除害ニ付ラモ

亦同シ

第八條 第一條第三條乃至第六條ニヨリ届出タル造林保護及伐採等ニ關スル方法及時期不適當ト

認ムルトキハ市町村長ハ之ヲ當廳ニ具申ス可シ

第九條 面積廣大ナル共有山林等ニシテ山番人ノ設置ヲ必要ト認メタルトキハ市町村長ハ所有者

ニ對シ之ヲ設置ヲ指示スヘシ

第十條 第一條第三條乃至第六條ノ届出ヲ怠リ若クハ第三條ノ承認ヲ受ケス又ハ其受ケタル承認

ニ反シ作業ヲ爲シタル者若クハ第一條第四條第五條第六條ノ届出ニ反シタル作業ヲ爲シタル者

若クハ第四條第五條ノ造林ヲ怠リタル者若クハ正當ノ事由ナク第七條ノ警防ニ從事セサルモノ

ハ二圓以上十圓以下ノ罰金ニ處ス

○長野縣訓令第六十號

市役所

町村役場

市町村ニ於テハ市制町村制ノ規定ニ從ヒ森林常設委員若干名ヲ置キ森林常設委員職務章程標準ニ

據リ森林ニ關スル事務ヲ取扱ハシムヘシ

但民有山林反別百町歩以内ノ町村ハ此限ニアラス

明治三十二年四月十八日

長野縣知事

園山

勇

森林常設委員職務章程標準

第一條 委員ハ其市町村内民有森林ニ關スル事務ヲ行フ

第二條 委員ハ毎年二回以上其市町村内ノ民有森林ヲ巡視シ左ノ事項ヲ監察スヘシ

一 市町村内一般ノ林况

二 造林、保護及伐採等ニ關スル作業方法ノ適否

三 防火ノ設備、野火ノ警防、虫害其他ノ除害ニ關スル方法ノ整否

四 森林ノ開墾又ハ地目變換ニ關スル公害ノ有無

第三條 委員ハ民有山林取締規則第一條第三條乃至第六條ノ届出アリタルトキ又ハ森林ニ非常ノ

災害アリタルトキハ其都度實地ヲ検査スヘシ

第四條 委員ハ森林作業又ハ取締方法其他林業上不適當ト認ムルモノアルトキハ森林所有者ニ

相當ノ注意ヲ加フヘシ

第五條 委員ハ左ノ事項ニ該當スルモノアルトキハ速ニ市町村長ニ報告スヘシ

一 森林ニ非常ノ災害アリタルトキ

二 森林ノ開墾又ハ地目變換ニ關シ公害アリト認メタルトキ

三 民有森林取締規則第十條ニ該當スルモノアリタルトキ

第六條 委員ハ毎年二月中其前年ニ於ケル左ノ事項ヲ市町村長ニ報告スヘシ

一 第二條第一號乃至第三號ノ事項

二 植栽ノ樹種、員數及其面積

三 伐採ノ種樹、員數及其面積

四 盜伐、火害、虫害、其他ノ被害ヲ受ケタル樹植、員數及其面積

五 森林反別其増減、異動

第七條 委員ハ森林作業又ハ取締方法其他林業上意見アルトキハ之ヲ市町村長ニ提出スヘシ

○長野縣訓令第六十一號

郡市役所
町村役場

一 森林常設委員ヨリ報告及意見書ヲ提出シタルトキハ町村長ハ郡長ヲ經由シ市長ハ直ニ知事ニ進達スヘシ

一 郡市町村長意見アルトキハ其旨添申スヘシ

明治三十二年四月十八日

長野縣知事

園山

勇

○長野縣訓令第六十二號

市役所
町村役場

長野縣訓令第六十號ニ據リ森林常設委員ヲ置キ職務章程ヲ定メタルトキハ其委員ノ氏名及職務章程ヲ直ニ報告スヘシ委員ノ異動及職務章程ヲ變更シタルトキ亦同シ

明治三十二年四月十八日

長野縣知事 園山 勇

○長野縣告諭第四號

森林ノ興廢ハ國土保安上及國家經濟上至大ノ關係ヲ及ホスモノニシテ其一マヒ荒廢スルヤ直接ニハ薪炭用材ノ欠乏ヲ來タシ間接ニハ水源ヲ涸渴シ氣候ノ調和ヲ失シ其結果水害霜害ヲ生シ或ハ惡疫ノ流行スル等其實質ニ云フヘカサルモノアリ由來本縣ハ土地廣潤ニ肥沃加フルニ山岳原野ニ富ミ最モ殖産事業ニ適ス此良土ニ益農事ノ改良ヲ圖リ工業ノ進歩ヲ期セハ民力ヲ養成シ福祉ヲ増進スル決シテ難キニアテサルナリ然レトモ農工事業ノ盛衰ハ森林ノ興廢ト最モ密接ノ關係ヲ有シ森林荒廢シテ獨リ農工事業ノ發達シタルモノ未タ之レアラサルナリ蓋シ木材ノ供給裕ナラサレハ工業ノ發達ヲ期シ難ク水害霜害ヲ除去スルニアラサルハ農事ノ改良ヲ圖ルモ遂ニ其効ナキニ終ラン然ルニ維新以來營林ノ法其宜シキヲ得ス林相漸ク失シテ四山皆禿ニ森林ノ荒廢今日ニ至リテ殆ント其極ニ達セリ是レヲ以テ霜害年々ニ起リ水害連年ニ生シ爲メニ廣漠タル桑圃モ一朝ニシテ十里ノ間一ノ綠葉ヲ見サルノ荒景ヲ呈シ又數千百町歩ノ田畑モ一夜ノ中ニ水泡ニ歸シ人畜ノ死傷亦妙シトセス其凄愴慘憺ノ狀得テ名狀スヘカラス現ニ二十九年以來三年ニ渉ル水害ニ於ケル損失ハ無慮二千二百萬圓ノ多ニ上リ廿九年三十一兩年間霜害ニ於ケル損失ハ無慮三百萬圓ノ多ニ達セリ而シテ養蠶其他産業上直接間接ニ被ル所ノ損害ハ實ニ幾百萬圓ナルヤ知ルヘカサルモノアリ且ツ縣下工業ノ漸次發達スルニ隨ヒ薪炭用材ノ供給年々不足ヲ告ケ僅ニ隣縣ノ供給ヲ仰キ漸ク其事業ヲ維持スト雖モ材價益騰貴シ將ニ工業ノ恐慌ヲ來タサントスルノ兆アリ如此縣下ノ農工事業ヲ沮害スル所以ノモノハ畢竟森林ノ荒廢ニ因ラスンハアラス故ニ今日ニシテハ大ニ之レカ救濟ノ道ヲ講セスンハ將來更ニ荒廢ノ度ヲ増進シ遂ニ不治ノ窮境ニ陥ルヤ然クシテ火ヲ睹ル

ヨリモ明ナリ而シテ其救濟ノ途ヲ講スルニハ先其原因ヲ究メサルヘカラス蓋シ森林荒廢ノ原因種々アリト雖モ要スルニ濫伐火害ノ二アリ即チ經濟ノ保障如何ヲ顧ミス伐採ヲ濫ニシテ造林ヲ怠リ或ハ目前ノ利ニ馳セテ漫ニ林地ヲ開墾シ若クハ燒畑切畑等ノ火入ヲ忽ニシテ野火ヲ發シ又ハ放火ノ爲メニ數千百町歩ヲ一時ニ燒盡スル等實ニ其主ナル原因ナルヘシ就中野火放火ノ害ニ至リテハ幾多ノ年月幾多ノ勞力ヲ以テ養生シタル森林モ之ヲ一炬ニ燒盡スルノミナラス地力ヲ減耗シテ將來ノ造林頗ル難ク林地ヲ荒廢スルコト濫伐ヨリモ尙ホ甚然ルニ習慣ノ久シキ幾ト天災ト同視シテ之レカ豫防救濟ニ努メヌ遂ニ水害霜害諸種ノ患害ヲシテニ茲ニ基因セシムルニ至ル豈素心ニ堪ユヘケンヤ而シテ之ヲ救濟スル途他ナシ一方ニハ盛ニ造林ヲ獎勵スルト同時ニ一方ニハ又嚴ニ保護ノ方法ヲ勵行シ森林ノ濫伐及火害ヲ十分ニ防禦スルニアリ然ルニ之カ造林ヲ獎勵スルニハ先苗木ノ充實ヲ計ラサルヘカラス苗木ノ充實ヲ計ルニハ先ツ苗木養生ノ事最急ノ要務ニ風ス故ニ縣應ニ於テハ大ニ茲ニ熱圖スル所アリ縣事業トシテ苗圃ヲ設ケ苗木ヲ養生シ以テ國土保安ニ關スル箇所ニ造林セントスル者及市町村ノ事業トシテ造林ヲ經營スル者ニハ無代ヲ以テ下附セントシテ昨今ノ通常縣會ニ計リタルニ幸ニ縣會ノ替裏スル所トナシ之ニ要スル費用十六萬餘圓ノ議決ヲ見ルニ至レリ本計畫ハ本縣土地ノ廣潤ニ比シテ僅ニ九牛ノ一毛ニ價スルニ過サルヘシト雖トモ之ヲ基礎トシテ漸次獎勵ヲ加フルニ至ラハ縣下將來ノ爲メニ其利益幾何ナルヤ知ルヘカサルモノアラントス然レトモ如此獎勵ノ途ヲ盡スモ民心造林ニ專ラナラス又幸ニ造林ニ專ラナルモ取締ノ方法其宜ヲ得ズ濫伐火入野火等ノ害依然行ハル、ニ於テハ遂ニ縣廳カ熱心企圖シタル本事業モ之カ爲メニ齋併ニ屬シ縣下將來ニ於ケル一般ノ造林事業ニ對シ多大ノ障礙ヲ與フルニ至ルヘシ是豈千秋ノ恨事ニアラスヤ故ニ造林獎勵ノ計畫ヲナスト共ニ森林取締ノ必要ヲ認メ民有山林取締規則

森林

並林野火入及焚火取締規則ヲ發布セリ然レトモ森林及保護ニ從事シ共同力ヲ戮セテ之カ改善ノ方
法ヲ講スルニアラサレハ到底其發達ヲ期ヘスカラサルヲ以テ官民一致全力ヲ擧ケテ之ニ當リ拮据
經營セハ庶幾クハ水害霜害其他ノ患害ヲ防止シ用材薪炭ノ不足ヲ補充スルヲ得テ農業茲ニ興リ工
業茲ニ盛ニ一方ニ於テハ町村ノ基本財産ヲ増殖シ縣下ノ林産亦大ニ發達スルヲ得ン縣民タルモノ
深ク森林興廢ノ利害ニ眼目シ縣廳意思ノアル所ヲ依シ以テ縣下百年ノ長計ヲ立ツルコトニ努ムヘ
シ

明治三十二年四月十八日

長野縣知事 園山 勇

○長野縣令第三十一號
森林法施行規程左ノ通り相定ム

但明治三十一年二月縣令第九號ハ廢止ス

明治三十二年五月二日

長野縣知事 園山 勇

森林法施行規程

第一條 森林ヲ開墾セントスル者又ハ保安林ニ於テ樹木ノ斫伐、土石切芝ノ採取樹根ノ採掘、牛馬
ノ放牧ヲ爲サントスル者ハ其願書ニ施業書並ニ圖面ヲ添ヘ左ノ期限ニ依リ當廳ニ願出許可ヲ受
クヘシ但許可ヲ得タル后其目的及施業方法ヲ變更セシムルトキハ本文ノ期限ニ拘ハラヌ更ニ
願出許可ヲ受クヘシ

一 一月ヨリ六月迄ノ間ニ於テ施業ニ着手又ハ施業セントスル者ハ前年九月限り
一 七月ヨリ十二月迄ノ間ニ於テ施業ニ着手又ハ施業セントスル者ハ其年三月限り

第二條 前條ノ願書施業書及圖面ハ第一號乃至第十號書式雛形ニ依リ調製スヘシ

第三條 森林ニシテ谿川ノ崖岸ニ係ル個所、強度ノ傾斜アル個所、土砂崩落其他天然ノ危害ヲ防衛
スル爲メ保存ノ必要アル個所ハ開墾ヲ爲スコトヲ得ス但危害ヲ豫防スルニ足ルヘキ相當ノ設
備ヲ爲スコトキハ此限ニアラス

第四條 保安林ノ施業ハ左ノ各項ニ據ルヘシ

- 一 保安林ニ於テハ一ヶ所(編入調整ノ一筆)毎ニ施業ヲ爲スヘシ但保安林ノ種類同一ニシテ所有者
同一ナルカ若クハ所有者異ナルモ各所有者合意ニテ同一事業ヲ爲サントスル場合ニ於テ保安
上ノ目的ヲ害セスト認ムルトキハ二ヶ所以上ノ保安林ヲ併合シテ一施業ヲ爲スコトヲ得
- 二 保安林ノ斫伐法ハ擇伐又ハ群成擇伐ヲ用ユルモノトス
- 三 毎年ノ擇伐區域ハ立木竹地全面積ヲ輪伐齡ヲ以テ除シタル商ノ三倍ヨリ小ナルヲ得ス
- 四 擇伐又ハ群成擇伐面積(斫伐スヘキ立木ノ占領面積)ハ立木地全面積ヲ輪伐齡ヲ以テ除シ得タル商得ノ五分ノ
四ヲ超ユルコトヲ得ス
- 群成擇伐ハ可成個所ヲ増シ一ヶ所ノ面積ハ力メテ狭小ナラシムヘシ
但手入間伐及被害木ノ斫伐ハ此ノ限リニアラス
- 五 保安林ニ於ケル林伐齡ハ左ノ標準ニ依ルヘシ

- 一 矮林 十五年以上
- 一 喬林 六十年以上
- 一 竹林 三十年以上
- 一 中林ニアリテハ上木ハ喬林ノ輪伐齡下木ハ矮林ノ輪伐齡
- 第五條 保安林ニシテ野火ノ延燒若クハ土砂崩壊ノ虞アル個所ハ防火若クハ砂防ノ設備ヲ爲スヘ

第六條 保安林ニシテ荒廢ニ屬シ又ハ無立木地トナル部分ニハ速ニ造林ヲ爲スヘシ

第七條 保安林ニシテ強度ノ傾斜アル箇所及土砂崩壊ノ虞アル箇所ハ土石切芝ノ採取又ハ樹根ノ採掘ヲ爲スコトヲ得ス

第八條 保安林ニ於テ切芝ノ採取ヲ爲スルハ幅一尺以内トシ少クモ幅二尺以上ノ間隔ヲ保タシムヘシ

但傾斜地ニアツテハ水平ニ採取スヘシ

第五條 保安林ニ於テ牛馬ノ放牧ヲ爲ストキハ牛馬ノ區域外ニ逸出セサル爲メ相當ノ設備ヲ爲スヘシ

第十條 保安林地ハ適宜ノ方法ヲ以テ境界ヲ明ニシ且ツ見易キ位置ニ標木ヲ建設スヘシ
標木ハ長六尺、三角以上トシ地籍字地番保安林反別及所有者名ヲ記スヘシ

第十一條 第一條ニ依リ許可ヲ受ケタル作業ヲ卒リタルトキハ十日以内ニ當應ヘ届出ツヘシ

第十二條 保安林ノ編入ヲ申請セントスル者ハ第十一號書式ノ申請書ニ第十三條ノ書類ヲ添ヘ當應ニ差出スヘシ

第十三條 保安林編入申請書ニ添付スヘキ保安林編入調査ハ第十二號様式ニ圖面ハ第十三號雛形ニヨリ之レヲ調製シ尙ホ別ニ面積ヲ算出シタル三斜計算圖並ニ利害關係區域見取圖(第十四號雛形)ヲ作リ之ヲ添フ可シ

第十四條 保安林ノ解除ヲ申請セントスル者ハ第十五號書式ノ申請書ニ第十六號書式ノ調査ヲ添ヘ差出スヘシ

保安林幾部ノ解除申請ニ係ル場合ニ於テ添付スヘキ圖面ハ第十三號雛形ニヨリ調製シ尙ホ別ニ解除區域ノ面積ヲ算出シタル三斜計算圖ヲ作リ之ヲ添フヘシ

第十五條 保安林ノ伐木ヲ禁止セラレタル所有者ノ直接損害ニシテ保安林編入申請者ノ補償ニ屬スル場合ニ於テ其金額ニ付協議整ハサルトキハ其事實ヲ詳具シタル書面ニ損害計算書(明治三十一年農務省令第二十二號ニヨリ損害ヲ算出シタルモノ)ヲ添ヘ當應ニ申立ヲ爲スヘシ

第十六條 森林法第五十六條ノ造林地ニ對シ縣ノ公課ノ免除ヲ乞ハントスルモノハ第十七號書式ノ申請書ニ造林地ノ圖面ヲ添ヘ當應ニ願出ヘシ

第十七條 保安林ニ就キ直接利害ノ關係ヲ有スル者ハ縣應備付ノ保安林臺帳又ハ郡市役所町村役場備付ノ保安林臺帳原本ノ閱覽ヲ請フコトヲ得

第十八條 本規程ニヨリ差出ス願書及届書等ハ總テ其土地所在ノ町村役場郡市役所ヲ經由スヘシ

(第一號書式)

森林開墾願

郡市町村大字 字地番

地目反別何程ノ内

一 實測反別何程

郡市町村大字 字地番

一 地目反別何程

右地所何年何月ヨリ何年何月迄ニ別紙施業書及圖面ノ通り開墾致度候間御許可相成度森林法第六條ニヨリ此段相願候也

年月日

願人

郡市町村番地

何

某印

知事宛

(所有主願人ナラサルトキハ願人ノ外所有者連署ヲ要ス)

(第二號書式)

森林開墾施業書

所在地	何郡市町大字何番
所有者	何郡市町村何某
出願人	全
全反別	五十町歩
開墾反別	十町五反歩
開墾ノ種類	宅地五反歩田二町歩畑八町歩
事業方法	初年五反歩ヲ宅地ニ二町歩ヲ田ニ二年一町五反歩ヲ麥畑ニ二町五反歩ヲ桑畑ニ三年四町歩ヲ蕎麥畑ニ開墾ス
地盤保護工事	川添兩岸ニ石積ヲ爲ス

河流並ニ距離	何川(幹流)ノ支流何川ノ流域何川(支流)又支流ヲ距ル何町何十間
傾斜	平均凡ソ十度
地表	落葉朽土少ナク稍乾燥ニシテ灌木及雜草疎生シ苔蘚ハ露畔ニ少許ヲ見ルノミ
林木種	松六分 柵四分
林齡	十年乃至二十年ヲ主トシ間々五六十年生ノモノヲ混ス
疎密	疎(最密、密、中庸、疎、最疎)ニシテ一町歩平均三百本
慣行ノ伐期	三十年

(備考)河流ハ該地雨水ノ直接流入スル川ヲ云フ

(第三號雜形)



(第四號書式)

保安林内(樹木斫伐)(樹根採掘)(土石切芝採取)(牛馬放牧)願書
 郡市町村大字字地番

民有保安林反別何程ノ内

- 一(樹木斫伐)(樹根採掘)(土石、切芝採取)(牛馬放牧)面積何程
- (數筆アルトキハ列記スヘシ)

右之土地ニ於テ何々ノ爲メ(斫伐、採掘、採取ヲ爲ス事由ヲ詳記スヘシ)
 何年何月ヨリ何年何日迄別紙施業書及圖面ノ通り(擇伐)(群成擇伐)(手入間伐)(被害木竹伐採
 (樹根採掘)(土石切芝採取)(牛馬放牧)致度候間御許可相成度(森林法第二十條ニ依リ)此段相願候
 也

年月日

願人 郡市町村番地
 何 某印

(所有主願人ナラサルトキハ)
 (願人ノ外所有主連署ヲ要ス)

知事宛

(第五號書式)

保安林樹木斫伐施業書

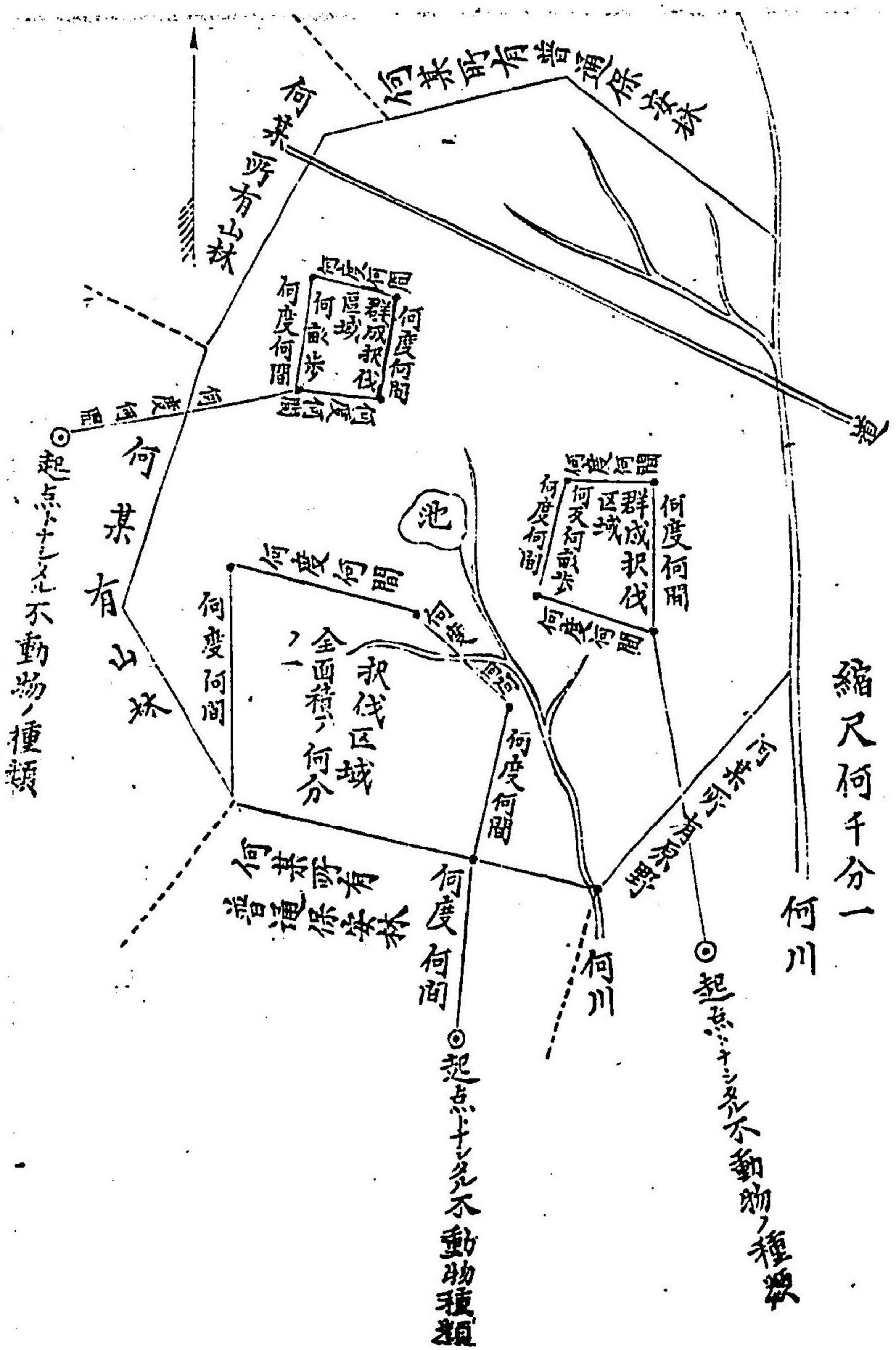
所在地 何郡市大字字何番

森林

保安林ノ種類	水源涵養林、防風林、風致林、等保安林ノ種類ヲ記スヘシ
林地所有者	何郡市何町村何某
出願人	全
全面積	何町何反歩
立木地全面積	何町何反歩
河流並ニ距離	何川(幹流)ノ支流何川ノ流域何川(支流ノ又支流)ヲ距ル何町何十間
傾斜	平均凡ソ十度
土性	上層ハ植質壤土ニシテ砂及礫ヲ混ス基岩ハ何岩ニシテ所々ニ露出スル等土性ヲ記スヘシ
地表	落葉朽土少ナク稍乾燥ニシテ灌木雜草疎生ス等地表實況ヲ記ス可シ
林木種	檜六分、杉四分等樹種及歩合ヲ記スヘシ
林齡	檜百年乃至百二十年、杉百二十年
疎密	疎ニシテ一町歩平均百本
輪伐齡	百二十年

斫面積伐	何反何畝歩
斫伐林木種及數量	檜凡ソ何本材積凡ソ何尺、杉凡ソ何本材積凡ソ何尺、等斫伐スヘキ樹種及材積ヲ記スヘシ但手入間伐ニ在テハ樹種ト歩合ヲ記スヘシ
斫伐林木齡	檜何年乃至何年 杉何年
擇伐ノ區域(擇伐ノ場合)	(擇伐ノ場合)立木地全面積ノ何分ノ何(擇伐スヘキ區域面積ノ立木地全面積ニ對スル割合)ト記スヘシ
擇伐箇所(群成擇伐ノ場合)	(群成擇伐ノ場合)何反何畝歩何ヶ所、何畝歩何ヶ所等群成擇伐ヲ爲ス每區域ノ面積ト其ヶ所數ヲ記スヘシ
伐木跡地播植法	伐木跡地ハ檜苗ヲ栽植ス等伐木跡地造林ノ方法ヲ記ス可シ
作業順序	<p>手入間</p> <p>伐被害木斫伐ノ場合</p> <p>(手入間伐ノ場合)圖面何印ノヶ所何反歩ハ一反歩凡ソ何本生立ノ小松林ニシテ此松ノ生育ヲ圖ラン爲メ障害木ヲ伐採シ圖面何印ノヶ所何反何畝歩ハ一年乃至五年生ノ柗何々木ノ繁生矮林ニシテ之ノカ生育ヲ圖ラン爲メ何坪凡ソ何本ヲ殘シ他ノ障害木ヲ伐採ス</p> <p>(被害木斫伐ノ場合)圖面何印ノヶ所反別何程ノ内枯損ノ分目通何寸乃至何寸ノモノ凡ソ何本伐採ス</p>
備考	<p>(備考)中林ノ樹木斫伐ノ場合ハ擇伐面積喬木矮木ノ反別ヲ内譯ス可シ</p> <p>手入間伐被害木斫伐ノ場合ハ第十五第十八ノ二欄記載ニ及ハス</p>

(第六號雛形)



(第七號書式)

保安林内樹根採掘施業書

所在地	保安林ノ種類	林地所有者	出願人	全面積	河流並ニ距離	採掘地面積	全傾斜	全土性	全地表	全林木種	全疎密
第五號書式ノ例ニヨルヘシ	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全	全

全	林	齡	全
全	樹	根	何々樹根何箇
種	類	及	數量
全	跡	地	埋沒、埋沒ノ上何樹苗植栽等跡地施業ノ見込ヲ記スヘシ
全	跡	地	施業
(備考)圖面ハ第六號雛形ニ準シ調製シ樹根採掘區域ヲ明示スヘシ			
(第八號書式)			
保安林内土石(切芝)採取施業書			
所	在	地	第五號書式ノ例ニヨルヘシ
保	安	林	ノ
林	地	所	有
者	全	全	全
出	願	人	全
全	全	全	全
全	面	積	全
採	取	地	面
積	全	全	全
河	流	並	ニ
距	離	全	全
採	取	地	傾
斜	全	全	全

全	土	性	全
全	地	表	全
全	林	木	種
全	全	全	全
全	疎	密	全
採	取	者	種
類	石	灰	石、陶
全	數	量	何切、何年何分、何貫等數量ヲ記スヘシ
(備考)圖面ハ第六號雛形ニ準シ調製シ採取區域ヲ明示スヘシ			
(第九號書式)			
保安林内牛馬放牧施業書			
所	在	地	第五號書式ノ例ニヨルヘシ
保	安	林	ノ
林	地	所	有
者	全	全	全
出	願	人	全

(第十一號書式)

保安林編入申請

申請者 何郡市町村

申請ノ目的物

郡市町村大字何番

國有林反別何程ノ内

一實測反別何程

郡市町村大字何番

一民有原野反別何程

此實測反別何程

(内反別ノ例)

事 實

一申請地ニ筆ハ何村ノ西北方ニ位スル山地ニシテ之ヨリ發スル總テノ谿水ハ合シテ何川トナリ專

ラ何村ノ飲用田用ニ供セラル、モノニ有之候云々

一申請地ハ何レモ水源涵養上必要ナルヲ以テ林木ノ伐採ハ維新前村民堅ク之ヲ戒メ曾テ伐採シタ

レコトナシ右ニ關スル村内規約書寫ハ別紙ノ通ニ有之候云々

一申請地ノ内國有林ニ編入セラレタル一筆ハ林木ノ拂下數回ニ及ヒ其良樹ハ過半伐採セラレ且ツ

跡地ニ對シ播植ヲナサ、ルヲ以テ處々秃山全様ノ狀ヲ呈シ又民有ノ一筆ハ昔時鬱叢タル林地タ

リシニ維新后濫伐ノ結果無立木地トナリ現ニ其地目モ原野ニ變セリ云々

一何川ハ近年平時ニ在テハ溪水ノ量大ニ減少シ又一朝強雨ニ際スレハ忽チ暴漲シテ土砂ヲ押流

何郡市町村

持主

何

某

(第十二號樣式)

保安林編入調書

所在地 (字名トモ)

何郡市町村大字何番山林(原野)

所有者住所氏名

何郡市町村何某

申請者住所氏名

何郡市町村長何某

通知書

知 事 宛

年 月 日

何郡市町村長

何

某 印

(備考)編入調書及圖面ヲ添付スルノ外尙郡市町村ノ申請ニ係ルトキハ郡市町村會決議書原本ヲ添フルヲ要ス

スルヲ以テ耕宅地ノ被害堤防道路ノ破壊等妨カラストス今明治何年ニ於ケル水源涸渴ノ爲メ生シタル旱害及水害ヲ調査スルニ別紙ノ通ニ有之云々

一何々(以上ノ例ニヨリ森林法第八條該當ノ事實ヲ詳記スルヲ要ス)

一前項記載ノ事實ナルヲ以テ森林法第八條ノ第一第五ニ該當ノ箇所ト認メ候條水源涵養土砂杆止ノ目的ヲ以テ保安林ニ御編入相成度村會ノ議決ニ依リ此段及申請候也

全	面積	百十五町五反步
保安林編入面積	七十五町	
保安林地價	何圓何十錢	
傾斜	平均凡ソ三十度	
土性	上層ハ植質壤土(植土植質壤土壤土砂質壤土砂土)ニシテ砂及礫ヲ混ス深サ六寸次ハ砂質粘土層砂層及礫層ニシテ其合計深サ二尺基岩ハ綠岩ニシテ所々ニ露出ス	
地表	落葉朽土少ナク稍乾燥ニシテ灌木及雜草疎生シ苔蘚ハ谿畔ニ少許ヲ見ル	
境界	東ハ某所有ノ無立木地ナル山林南ハ何村共有林場西及北ハ官有原野ニ接ス	
林木種	檜六分花柏四分	
林齡	五十年乃至七十年生ヲ主トシ間々十二三年ノモノヲ混ス	
疎密	疎(最密、密、中庸、疎、最疎)ニシテ一町步平均三百本日光殆ント林地ニ注射ス	
慣行ノ伐期	八九十年	
雜產物	蔬菜、落葉、下草等少許	
慣行施業	需用ヲ俟チ擇伐ス平均一ヶ年全面積ヲ伐採量千四百尺ノニシテ空際ニハ檜苗ヲ補植ス	

被害ノ狀況	良樹ノ伐採過量ナルカ故ニ林相亦昔日ノ觀ナク谿水著シク減少シ小雨ニモ土砂ヲ流出シテ混濁ス
編入ノ事由	水源涵養土砂扞止ニ必要ノ森林ト認ム
保安林種類	水源涵養林
伐採法又ハ禁伐	擇伐
輪伐齡	百年
伐採面積	五反步
雜產物ノ採否	落葉ノ採取ノミヲ許ス
播植法	自然生ヲ撫育シ且ツ勉メテ檜ヲ補植シ速ニ密林トナスヲ要ス
手入法	適宜灌木ヲ刈除シテ稚樹ノ生育ヲ保護シ且今後何年間若干ノ間伐ヲ許ス
地盤保護工事	砂防ノ爲メ積苗工ノ施行ヲ要ス
取締法	野火ノ延燒ヲ防ク爲メニ豫メ周圍ニ幅五間以上ノ防火線ヲ設ケシム
關係區域	何村何村ニケ村ノ水田灌溉ニ影響シ其反別凡何町步ナリ

(備考)

一保安林編入ノ目的數種ニ涉ルトキハ實地ノ形勢ニヨリテ功用ノ程度及必要ノ多少等ヲ比較シ

森林

其主タル目的ヲ取調其旨ヲ調書ニ記入スヘシ
 一土地臺帳ノ筆數數筆ニ涉ル場合ト雖モ一團地ナルトキハ之ヲ合シテ一ヶ所トナシ本調書ヲ作
 ルヘシ但シ保安林ノ種類異ナルトキ及其所有者異ナルトキハ此限リニアラス
 (第十三號第十四號雜形ハ略ス)
 (第十五號書式)

保安林解除申請

申請者 何郡市町村

申請ノ目的物

郡市町村大字字地番

國有保安林反別何程ノ内

一實測反別何程

郡市町村大字字地番

一民有保安林反別何程

何郡市町村

持主 何 某

事由

一何々(編入ノ原因消滅シ又ハ公益上特別ノ事由生シ解除ヲ要スル事實ヲ第十一號書式ノ例ニ依
 リ詳記スルヲ要ス)

一何々

右申請候也

年月日

何郡市町村長

何

某印

知事宛

(備考)解除ニ關スル調書及圖面ヲ添付スルノ外尙郡市町村ノ申請ニ係ルトキハ郡市町村會ノ決議
 書原本ヲ添フルヲ要ス
 (第十六號書式)

保安林解除調書

所在地	第十三號様式ノ例ニヨリ記載スヘシ
保安林ノ種類	全
林地所有者	全
申請者	全
保安林全面積	全
解除地面積	全
全傾斜	全
全土性	全
全地表	全

森林

全境	全
全林木種	全
全林齡	全
全疎密	全
解除ノ事由	全

(備考)圖面ハ第十三號様式ニ準シ調製シ且ツ別ニ面積計算圖ヲ作り添付スルヲ要ス
(第十七號書式)

造林地公課免除願

郡市町村大字字何番

地目反別何程ノ内

一造林反別何程

地價金何程

地租金何程

此造林樹種何々何本

右明治何年何月造林シタルモノニ有之就テハ何年何月ヨリ何年何月迄何ケ年間前記造林地ニ對スル縣ノ公課御免除相成度森林法第五十六條ヨリ此段相願候也

郡市町村番地

年月日

知事宛

何

某印

(備考)森林法第五十五條主務大臣ノ命ニヨリ造林シタルモノハ其命令年月日及命令ニヨリ造林シタルモノナルコトヲ願書中ニ適宜記載スルヲ要ス

圖面ハ第三號雛形ニ準シ調製シ造林地ノ區域ヲ明示スヘシ

○長野縣訓令第七十五號

郡市役所
町村役場

森林法ニ關スル取扱手續左ノ通り相定ム

但明治三十一年二月訓令第九號ハ廢止ス

明治三十二年五月二日

長野縣知事

園山 勇

森林法ニ關スル取扱手續

第一條 郡市町村長ニ於テ森林法第三條乃至第五條第七條第二十一條乃至第二十四條及第五十五條ノ執行ヲ必要ト認ムルトキハ事實ヲ具申スヘシ

第二條 市町村長森林法施行規程第一條ノ願書全第十二條及全第十四條ノ申請書ヲ受ケタルトキハ字地番地目反別所有者名並ニ圖面ノ正否ヲ公簿ニ照合シ且ツ森林法第八條ノ關係其他公益上ノ直接利害ヲ有スル者ノ異議ノ有無ヲ調査シ意見ヲ附シ十日以内ニ進達スヘシ

第三條 郡長ニ於テ前條書類ノ進達ヲ受ケタルトキハ森林法施行規程第一條ノ願書ニ對シテハ意見見アル場合ニ限リ又全第十二條全第十四條ノ申請書ニ對シテハ森林法第八條ノ關係其他公益上

ノ利害ニ就キ意見ヲ附シ速ニ進達スヘシ

第四條 市町村長ニ於テ森林法施行規程第十一條ノ届書及全第十六條ノ願書ヲ受ケタルトキハ實地檢査ノ上其狀況ヲ詳具シ速ニ進達スヘシ

第五條 郡市役所町村役場ニ於テ當廳ヨリ保安林台帳原本ノ送付ヲ受ケタルトキハ御料林園有林部分林公有林社寺林、及私有林ヲ各別ニ編纂シ置キ保安林ノ解除又ハ保安林台帳記載ノ事項ニ對シ異動ノ通知ヲ受ケタルトキハ之ヲ更正削除スヘシ

但本文ノ編纂ハ口座ヲ設ケ台冊ト爲スコトヲ得

第六條 保安林ニ就キ直接利害ノ關係ヲ有スルモノヨリ保安林台帳原本ノ閱覽ヲ請フトキハ之ヲ閱覽セシムヘシ

第七條 保安林ニ編入セラレタル箇所ニシテ其土地ノ分裂買賣讓與等ノ爲メニ字地番地目反別又ハ所有者ニ異動ヲ生シタルトキハ市町村長ニ於テ其郡度之ヲ當廳ニ申報スヘシ

第八條 郡市役所町村役場ハ第五條保安林台帳原本ノ送付ヲ受クル迄ノ間保安林仮台帳ヲ設備シ
明治三十年^{十二}本縣令第六十號及全年^全本縣告示第二百七十七號ニ依リ其所轄内ノ保安林ヲ登錄シ置キ異動アル毎ニ之ヲ更正削除スヘシ

◎鑛業

○長野縣訓令第五百十六號

郡 役 所

明治二十七年七月農商務省令第六號鑛業條例施行細則第九條及第十條ニ掲ケタル鑛業ニ關スル出願ニ付當廳内務部長ヨリ通牒ヲ受ケタルトキハ其事業公益ニ害アルヤ否ヤ及ヒ出願地ノ字名土地臺帳若クハ其他ノ公簿ニ符合スルヤ否ヤヲ取調二十日以内ニ其意見ヲ具申スヘシ

但シ特別ノ理由アリテ本文期日内ニ具申シ難キトキハ其理由ヲ添テ申出ヘシ

長野縣知事 淺田 徳 則

○長野縣訓令第五百十七號

郡 役 所

一明治二十六年法律第十號砂鑛採取法第四條ニ依リ官有地内ノ採取ニ付承諾願書ヲ差出タルモノアルトキハ其事業公益ニ害アルヤ否ヤ及ヒ地字區域反別等相違ナキヤ否ヤヲ取調其意見書ヲ添付差出スヘシ

二明治二十七年七月農商務省令第七號砂鑛採取法施行細則第三條ニ掲ケタル採取ノ出願ニ付當廳内務部長ヨリ通牒ヲ受ケタルキハ其事業公益ニ害アルヤ否ヤ及出願地ノ字名土地臺帳若クハ其他ノ公簿ニ符合スルヤ否ヤ並出願地所有者ノ住所氏名ヲ取調二十日以内ニ其意見ヲ具申スヘシ

但シ土地ノ狀況ニ依リ特別ノ理由アリテ本文期日内ニ具申シ難キトキハ其理由ヲ添テ申出ヘシ

明治二十七年九月十七日

長野縣知事 淺田 徳 則

○長野縣訓令第八十七號

郡市役所

鑛業砂鑛採取業出願地ノ地名、地種目ノ異動、出願地ニ鑛業條例第二十四條及第二十五條ニ掲ケタルモノノ有無又出願地ノ土地所有者ニ關スル事實ニ付鑛山監督署長ヨリ調査方請求アリタルトキハ速ニ調査ヲ遂ケ回報スヘシ

長野縣知事 園山 勇

明治三十二年五月十九日

○長野縣訓令第八十八號

郡市役所

他人ノ掘採セル鑛物ヲ買入レ製煉スル者又ハ砂鑛ヲ製煉スル者アルトキハ左ノ雛形ニ依リ一箇年ノ工程ヲ取調ヘ翌年二月限リ報告スヘシ
但明治二十六年七月本縣訓令第十六號ハ廢止ス

長野縣知事 園山 勇

明治三十二年五月十九日

雛形(用紙美濃紙半切)

明 治 (何)		製 煉 工 場 位 置		製 煉 人	
種 別	越 高	買 入	高	製 煉 二 附 シ タ ル 物	高
				殘	高

年(何)製煉業明細表

事 記	製 品			品		
	種 別	越 高	製 出 高	販 賣 代 價	殘 高	

注 意

種別ノ欄ニハ越高以下各欄ニ記入スヘキ鑛品製品ノ各種類ヲ列記スヘシ
鑛品ハ貫ヲ單位トシ製品ノ内金、銀ハ斤ヲ單位トス但鑛品製品ノ區別ナク鐵類ハ貫、石油ハ升ヲ單位トス
砂鑛ヲ製煉スル場合ニ於テハ自己ノ採取セルモノト買入レタルモノトヲ問ハス同一ニ買入高ノ欄ニ記入スヘシ
鑛業條例ニ所謂鑛業人ト雖モ買入鑛物ニ係ル分ハ總テ本表ニ記入スヘシ

セ × 3 2 53

◎ 雜

○長野縣告示第百三十八號

開墾及牧畜事業ノ爲メ國有原野ノ豫約賣渡願差出方ニ關シテハ自今左記各號ニ依リ取扱フヘキ旨
長野大林區署長及長野整理局長野支局長ヨリ通知アリ

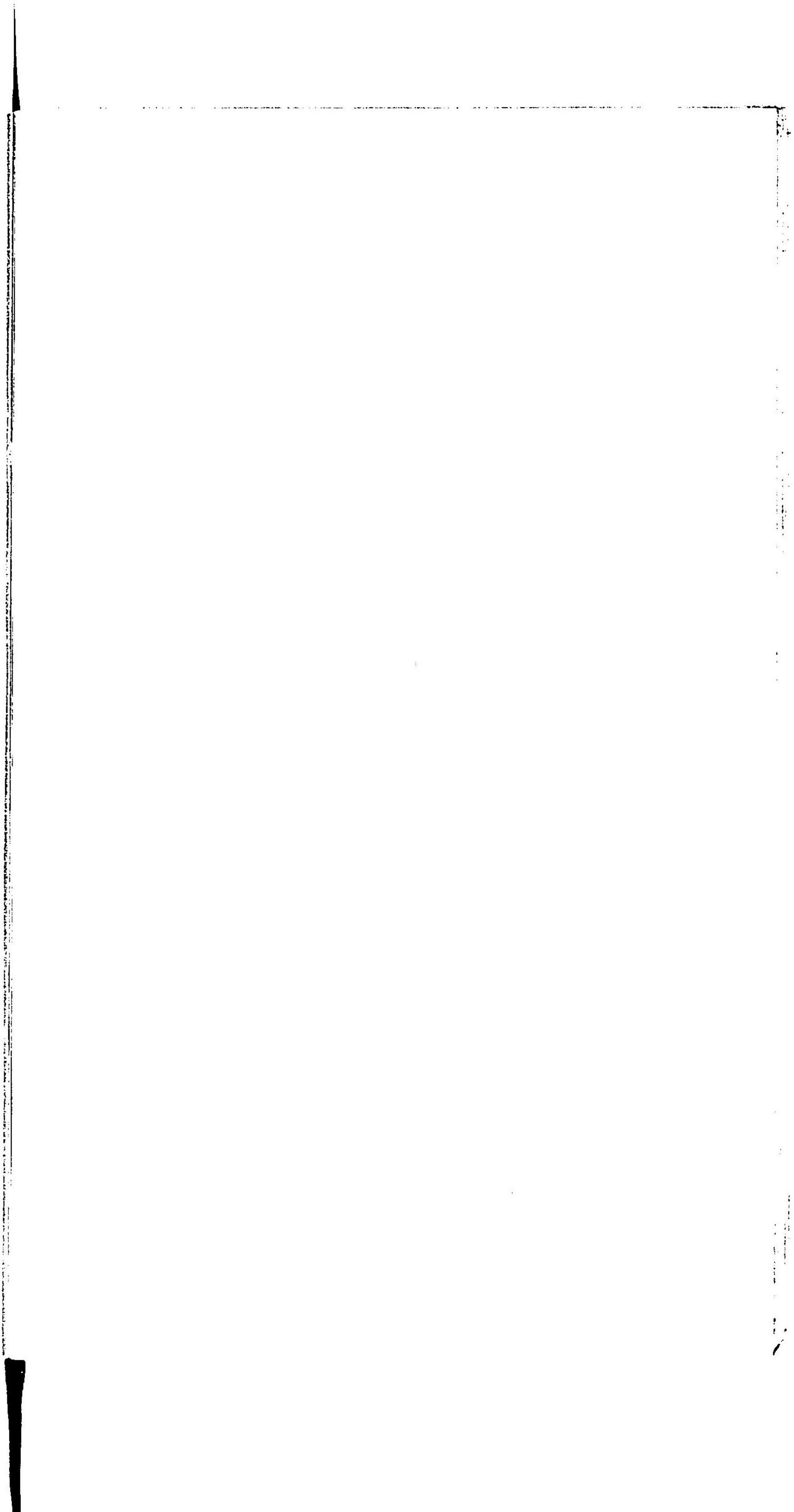
明治卅二年五月十二日

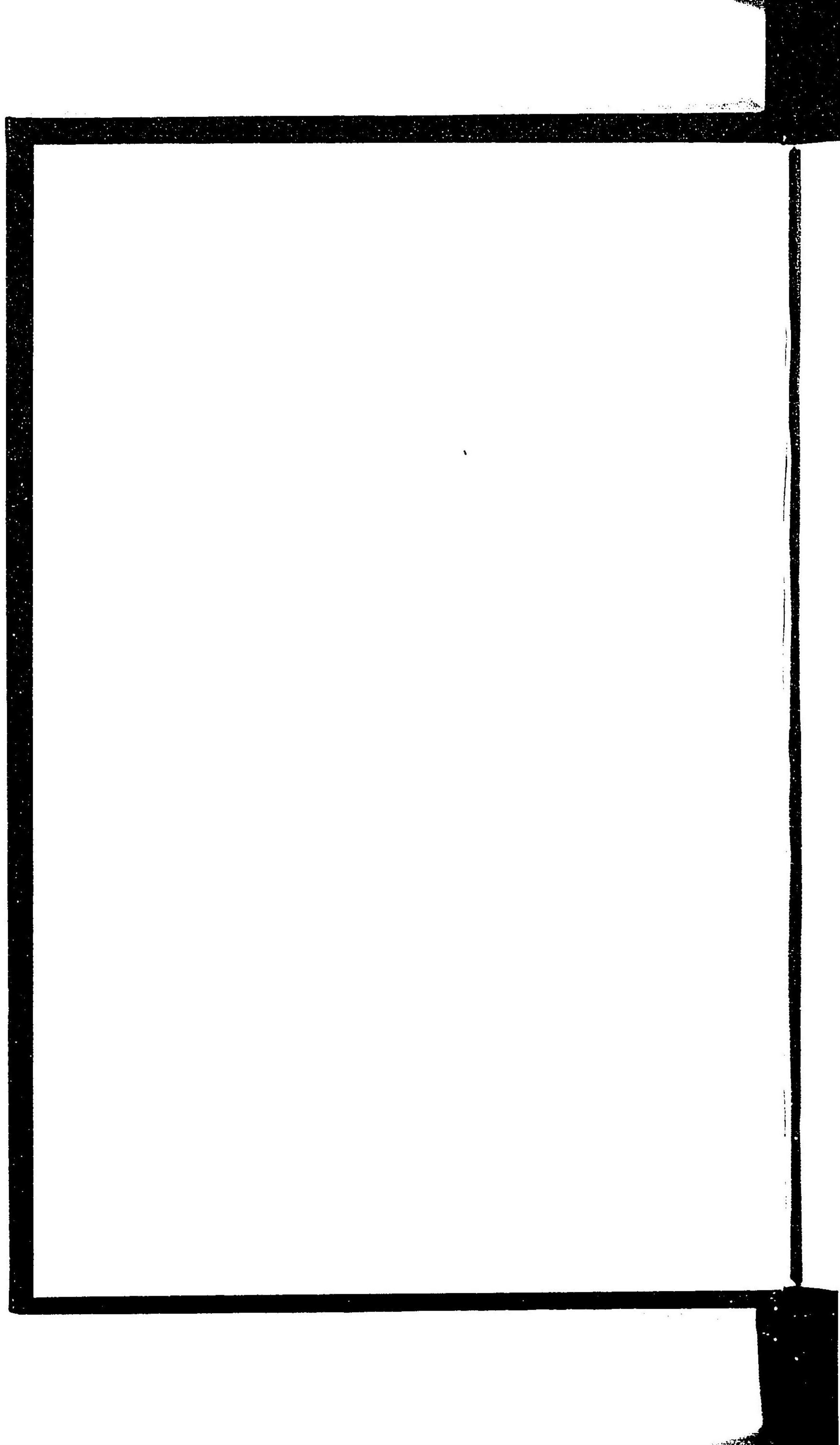
長野縣知事 園山 勇

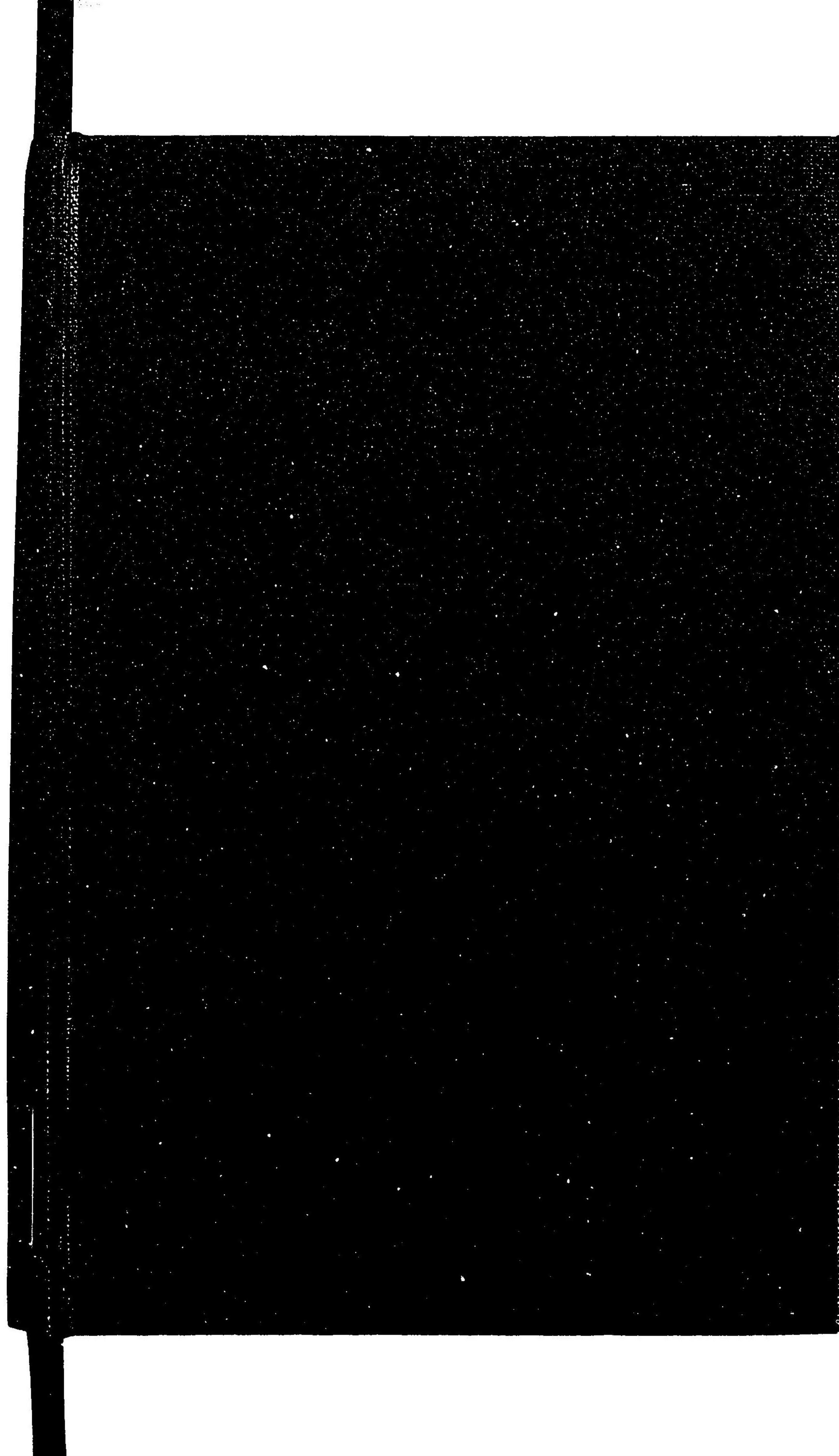
一開墾及牧畜事業ノ爲メ新々ニ國有原野ノ豫約賣渡ヲ出願セント欲スルモノハ明治二十四年一月
本縣令第三號官有原野賣渡手續ニ準據シ書留郵便ヲ以テ直チニ長野整理局長野支局長ニ差出ス
ヘシ

二從前開墾及牧畜事業ノ爲メ國有原野ニ對シ既ニ豫約賣渡ノ許可ヲ受ケタルモノニシテ該事業ヲ
成功シタルトキハ成功報告書ヲ所轄小林區署ニ提出シ檢査済ノ上更ニ成功地賣渡願書ヲ調製シ
直チニ長野整理局長野支局長ニ差出スヘシ

三從前開墾及牧畜事業ノ爲メ國有原野ニ對シ既ニ豫約賣渡ノ許可ヲ受ケタルモノニシテ該事業ノ
變更又ハ年期繼ヲ出願セントスルトキハ所轄小林區署ヲ經由シテ長野大林區署長ニ差出スヘシ
四第二號及第三號ノ願書類ハ書留郵便ヲ以テセサルモ妨ケナシ







禁電子式複写

031351-001-8

CZ-1113-55-03

長野県現行令達類纂

長野

M32

BBD-0563



